

EPSON



ES-6000

トウェイン

EPSON TWAIN Pro

● ● ● スタートアップガイド



Color Image Scanner

— 本書は、スキャナの近くに置いてご活用ください —

4010193
S01-02

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

はじめにお読みください

この取扱説明書は、開梱から取り込みまでの手順の流れを説明しています。

スタートアップガイド（本書）

スキャナをコンピュータと接続して、画像を取り込むまでの手順を説明しています。

ユーザーズガイド

スキャナビボタンの使い方・EPSON TWAIN Proの詳細・オプションの使用方法などについて説明しています。

付属のソフトウェアのご案内

この取扱説明書では、次の内容を説明しています。

- 付属のソフトウェアの紹介
- 付属のソフトウェアでのEPSON TWAIN Proの起動方法
- 付属のソフトウェアの使い方

ネットワークガイド

スキャナをネットワーク環境で利用する手順を説明しています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書をお読みください。また、本書は製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

本書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、お守りいただく内容の種類を次の絵記号で区分し、説明しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。
	この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

安全上のご注意

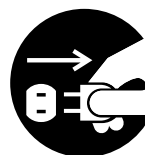
⚠ 警告

- ・煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

すぐに電源コードをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンサービスセンターにご相談ください。

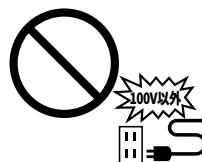
お客様による修理は危険ですから絶対しないでください。



- ・(取扱説明書で指示されている以外の) 分解や改造はしないでください。けがや感電・火災の原因となります。



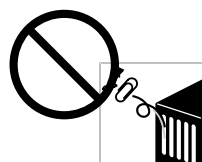
- ・表示されている電源(AC100ボルト)以外は使用しないでください。指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。



- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



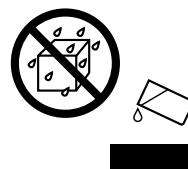
- ・通風孔など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災の原因となります。



- ・異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

すぐに電源コードをコンセントから抜き、販売店またはエプソンサービスセンターにご相談ください。



- ・電源プラグの取り扱いには注意してください。取り扱いを誤ると火災の原因となります。電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
 - ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
 - ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む



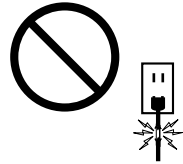
⚠警告

- ・破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災の原因となります。

電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- ・電源コードを加工しない
- ・電源コードの上に重いものを乗せない
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- ・熱器具の近くに配線しない

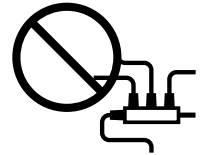
電源コードが破損したら、販売店またはエプソンサービスセンターにご相談ください。



- ・電源コードのたこ足配線はしないでください。

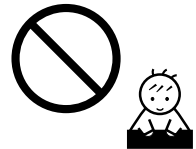
発熱し火災の原因となります。

家庭用電源コンセント(AC100ボルト)から電源を直接取ってください。



⚠注意

- ・小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。



- ・不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。



- ・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。感電・火災のおそれがあります。

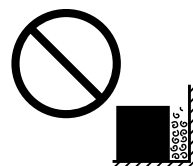


- ・本製品の上に載ったり、重いものを置かないでください。特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがをするおそれがあります。

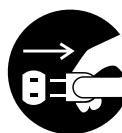


⚠注意

- 本製品の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。
次のような場所には設置しないでください。
 - 押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ
 - じゅうたんや布団の上
 - 毛布やテーブルクロスのような布をかけない
 また、壁際に設置する場合は、壁から10cm以上のすき間をあけてください。



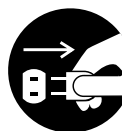
- 連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災のおそれがあります。



- 本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。



- 他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。



- オプション類を装着するときは、裏表や前後をまちがえないでください。
まちがえて装着すると、故障の原因となります。取扱説明書の指示に従って、正しく装着してください。



- 本製品は重いので、開梱や移動する場合一人で運ばないでください。
必ず2人以上で運んでください。



本書のご案内

詳しいもくじは次ページにあります。

スキャナの設置について
説明しています

設置のしかた

Windows PC との接続の
しかたを説明しています

Windows PC との接続

ソフトウェアのインス
トール手順を説明して
います

ソフトウェアのインストール

原稿のセット方法などを
説明しています

スキャナの基本的な使い方

画像の簡単な取り込み
手順を説明しています

画像の取り込み（簡単編）

困ったときの対処方法を
説明しています

困ったときは

74 ページに用語の解説があります。
不明な用語がありましたらご活用ください。

- 取扱説明書の種類と使い方 巻頭
- 安全にお使いいただくために (1)
 - 安全上のご注意 (2)
- 本書のご案内 (5)
- ES-6000の特長 (8)
- 各部の名称とはたらき (10)
 - 前面 (10)
 - 背面 (11)
- 本文中のマークと表記について (12)

設置のしかた

- 設置する前に 2
 - 設置に必要なスペース 2
 - 設置上のご注意 3
- 輸送用固定ノブの取り扱い 4
 - スキャナを使用するとき 4
 - スキャナを移動するとき 4
- 電源の接続と動作の確認 5

Windows PCとの接続

- SCSI接続の手順 8
- SCSIボードとSCSIドライバの組み込み 10
- スキャナ接続前の確認 12
- SCSI IDとターミネータの設定 ... 14
- SCSIケーブルの接続 16
- 情報ファイルの組み込み (Windows95) 17
- SCSIの基礎知識 20

ソフトウェアのインストール

- システム条件の確認 22
- 画像データ容量の目安 23
- Windows98でのインストール 24
 - EPSON TWAIN Proのインストール ... 24
 - 付属のソフトウェアのインストール 31
 - 接続の確認 32
- Windows95/NTでのインストール 34
 - EPSON TWAIN Proのインストール ... 35
 - 付属のソフトウェアのインストール 40

スキャナの基本的な使い方

- 原稿のセット 42
- 使用できる原稿 44
 - 使用できるサイズ 44
 - 原稿台よりも大きい原稿のセット 45
 - 原稿の条件について 46

画像の取り込み (簡単編)

- 画像の取り込み方法の紹介 48
- EPSON TWAIN Proの起動 50
- 簡単な取り込み方 52

困ったときは

- 故障かな？と思ったら 58
- スキャナのエラー表示 60
- スキャナの電源をオンにしたときのトラブル 61
 - 電源がオンにならない 61
 - 電源オンでエラーが出る 61
- エラーメッセージ 62
 - TWAINデータソースまたは
インターフェイスのエラー 62
 - ハードディスクやメモリ関連のエラー ... 63
 - ADF使用時のエラー 63
 - Windows起動時のエラー 63
- スキャナが認識されない 64
- Windows95/98でSCSIボードが
認識されないときは 67
- 画像取り込み時のトラブル 68
 - EPSON TWAIN Proを起動できない ... 68
 - エラーが出て画像を取り込めない 72

付録

- 用語解説 74
 - 英数字 74
 - アイウエオ 75
- 索引 77
 - 英数字 77
 - アイウエオ 77

ES-6000 の特長

ES-6000は、大版 / 高画質の画像入力に適した Windows 専用のスキャナです。
本機は以下の特長を備えています。

A3に対応

反射原稿（紙などの、光を反射する原稿）は297mm×432mmまで取り込むことが可能ですので、ポスターや図面などの取り込みにご利用頂けます。

高画質

光学解像度は600×1200dpiです（取り込む画像の解像度は、50～9600dpiの範囲で任意に設定可能です）。

また、入力階調は各色12bitですので*、明るい部分や暗い部分の階調再現性能が優れています。

*出力階調は各色8bit（1,677万色）です

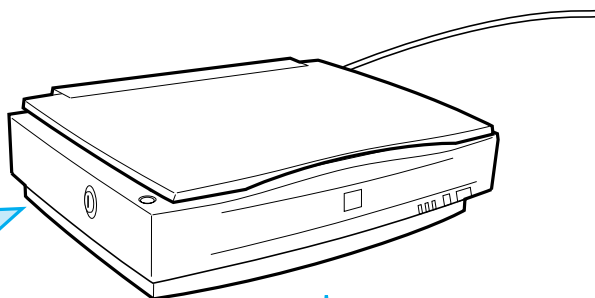
高速

プレビューも本スキャンも、みるみるうちに実行。
お待たせしません。

原稿の連続取り込み/両面取り込みが可能

オプションのオートドキュメントフィーダ（ADF）を取り付けることにより、原稿を連続して取り込むことができます。大量の文書の取り込みやファイリングに威力を発揮します。

このADFは、両面取り込みも可能です。



ボタン押すだけ簡単操作

スキャナビボタンを搭載しました。このボタンは、次のようなことを実現します。

- ・ ボタンを押すだけでTWAIN対応ソフトとEPSON TWAIN Proを起動
 - ・ ボタンを押すだけで自動的に画像を取り込む
 - ・ 例えば、取り込むだけでなく、さらに文字原稿の認識（OCR）まで自動化
- このボタンにより、スキャナがより身近になります。

ネットワーク対応

スキャナを接続したPCをネットワークに接続し、専用のソフトウェアをインストールすれば、ネットワーク上の他のPCでスキャナを利用することができます。
ネットワークでの利用方法については、ネットワークガイドをご覧ください。

マルチマーキー、バッチスキャンに対応

1つのプレビュー（仮取り込み）画面上で複数の取り込み枠（マルチマーキー）を設定し、連続して取り込むこと（バッチスキャン）が可能です。例えば名刺を一面に並べ、一回の操作でまとめて取り込むことが可能です。

出力機器に合わせた最適な取り込み

画像を最終的に出力する機器（ディスプレイやプリンタ）に応じて、画像ファイルの解像度やシャープネス設定などが最適に行われます。また、線数に応じた解像度設定を初期値として用意しました。（取り込む画像の解像度は、50～9600dpiの範囲で任意に設定可能です）

線画、文字原稿も高品位

TET（背景除去機能）により、文字の背景に色がついている場合でも、文字のみを抽出して取り込むことが可能です。
また、AAS（自動領域分離機能）により、自動的に文字部分はモノクロで、画像部分は中間調処理をして取り込むことが可能です。

豊富な画質調整機能

強力な自動露出調整をはじめ、彩度、濃度などのさまざまな調整が可能です。
調整はプレビューウィンドウを見ながら行います。プレビュー画質は高品位/高速の選択が可能です、高品位では取り込み後の画像により近い品質が得られます。
また、印刷物のスキャンで発生するモアレを除去する機能を用意しました。

各部の名称とはたらき

スキャナの各部の名称とその機能を示します。
スキャナのセットアップおよび操作にお役立てください。

前面

キャリッジ

原稿を照射する蛍光ランプがついており、取り込み時に移動します。取り込み前のキャリッジの待機位置をホームポジションといいます。

原稿カバー

一枚紙の原稿のときは、閉じて外部の光を遮ります。A3よりも大きい原稿をセットするときは、取りはずすこともできます。

原稿台

原稿の取り込む面を下にして置きます。取り込み時の開始位置を示す原点マークと、原稿の大きさを示すスケールがついています。最大取り込み領域は297mm×432mmです。

輸送用固定ノブ

輸送時にキャリッジが動かないように固定するためのノブです。スキャナの使用時はUNLOCKの位置に回します。LOCKの位置ではキャリッジが固定されるので、スキャナは動作できません。

スキャナビボタン

設定によっては、このボタンを押すだけで取り込み操作が可能です。ボタン押下後の処理は、設定によって変わります。

OPERATE スイッチ

電源をオン/オフするスイッチです。

RESET スイッチ

スキャナをリセットします。エラーが発生したときなどに使います。

ERROR ランプ (赤)

スキャナにエラーが発生したときに、点灯または点滅します。

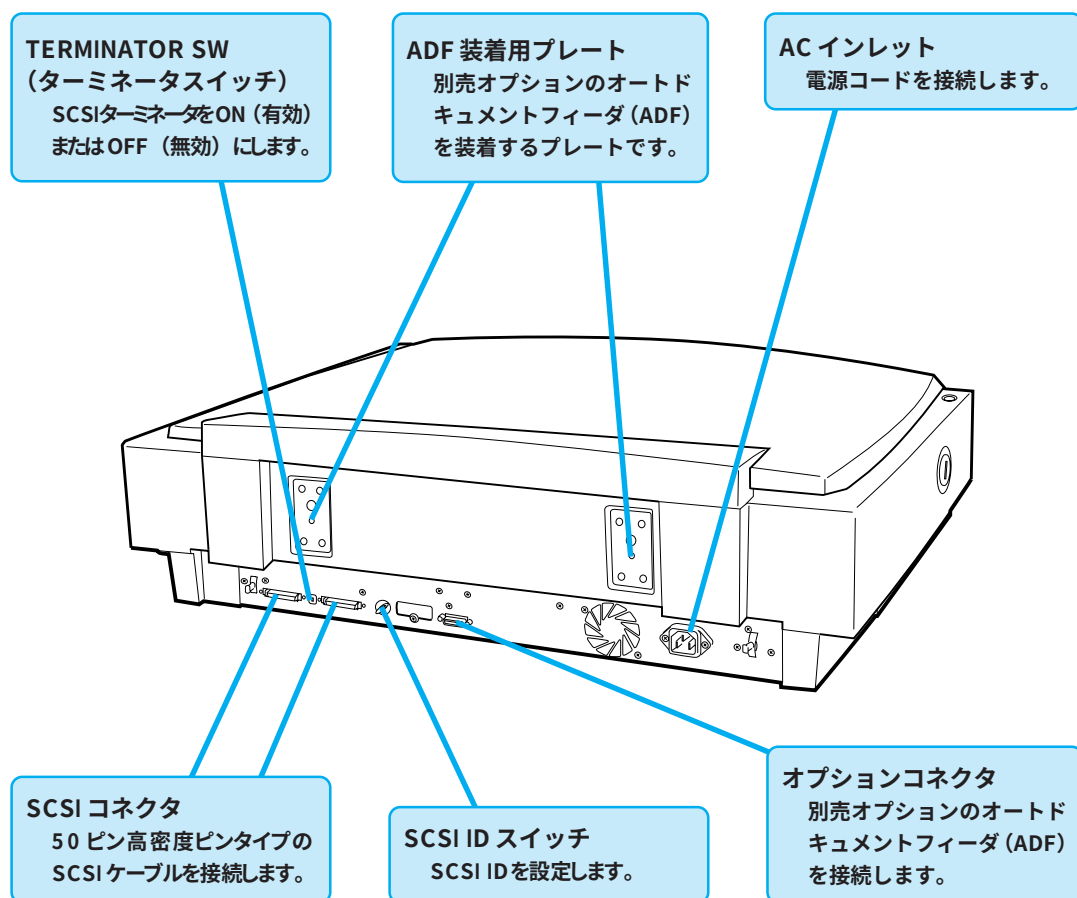
READY ランプ (緑)

スキャナが取り込み動作可能なときに点灯します。エラーの種類によっては、このランプが点滅します。

OPERATE ランプ (緑)

電源がオンのときに点灯します。

背面



本文中のマークと表記について

マークが付いている文章は次のように重要な内容を記載しています。
必ずお読みください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、スキャナ本体が損傷する可能性が
想定される内容を示しています。



ポイント

お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）を記載しています。必ずお読み
ください。

商標等の表記

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Microsoft® WindowsNT® operating system Version3.51 日本語版
Microsoft® WindowsNT® operating system Version4.0 日本語版

—の表記について

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、
Windows98、WindowsNT3.51、WindowsNT4.0 と表記しています。また、
Windows95、Windows98、WindowsNT3.51、WindowsNT4.0 を総称する場
合は [Windows]、複数の Windows を併記する場合は [Windows95/98/NT4.0]
のように、Windows の表記を省略することがあります。

Adaptec、AHA、PhaseEngine、SCSI Select および EZ-SCSI は Adaptec 社
の登録商標です。

Adobe、Adobe Photoshop、Acrobat は Adobe Systems Incorporated の各
国での商標または登録商標です。

[Adobe Photoshop] は Adobe Systems Incorporated の著作物であり、こ
れらにかかる著作権その他の権利はすべて Adobe Systems Incorporated に帰
属します。

PC-9801/9821 シリーズおよび PC98-NX シリーズは日本電気株式会社の商標です。
IBM PC、DOS/V、IBM は International Business Machines Corporation の
商標または登録商標です。

Microsoft、Windows および WindowsNT は米国マイクロソフト社の米国および
その他の国における登録商標です。

Pentium は Intel Corporation の登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

設置のしかた

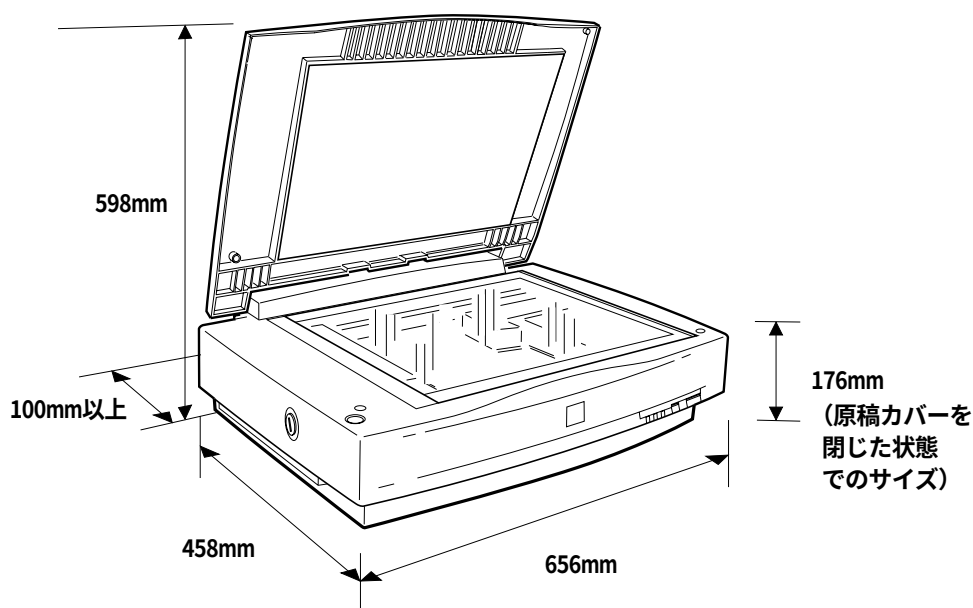
ここでは、スキャナの設置について説明しています。

- 設置する前に P.2
- 輸送用固定ノブの取り扱い P.4
- 電源の接続と動作の確認 P.5

設置する前に

設置に必要なスペース

- スキャナの周囲と上側には、操作しやすいように十分なスペースを取ってください。
- 背面には電源コードやインターフェースケーブルのためにすきまが必要です。壁に押しつけて置くと、ケーブルの根元に無理な力がかかって断線したり、ケーブルが外れる原因になりますのでご注意ください。



⚠ 注意

本機は A3 対応の大型スキャナですので、必ず、水平で安定した頑丈な場所に設置してください。不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた場所など)に設置した場合、落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

設置上のご注意



注意

本機は、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所



注意

本機は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対にさけてください。

直射日光の当たる場所	ほこりや塵の多い場所	温度変化の激しい場所
湿度変化の激しい場所	火気のある場所	水にぬれやすい場所
揮発性物質のある場所	冷暖房器具に近い場所	震動のある場所



注意

- ・テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。



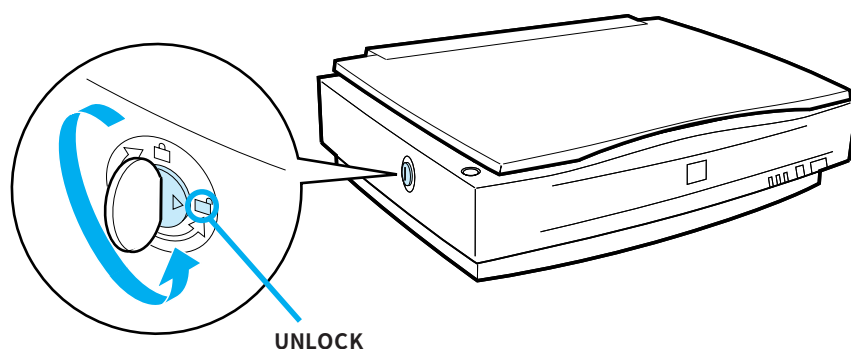
- ・静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。

輸送用固定ノブの取り扱い

輸送用固定ノブは、スキャナ内部にあるキャリッジが外部からの衝撃により移動しないよう、固定・保護するためのものです。

スキャナを使用するとき

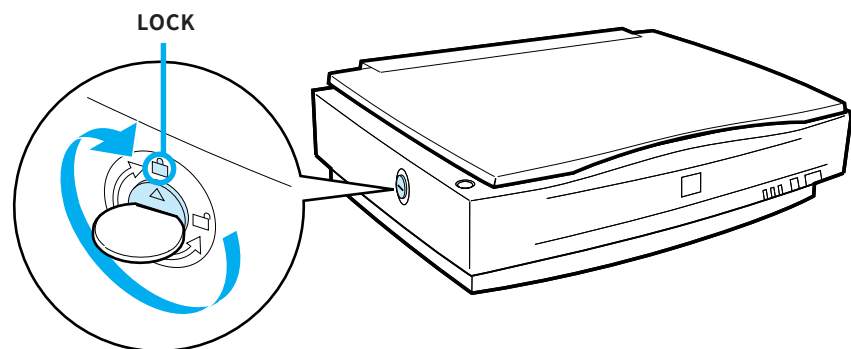
スキャナの使用時は、10円硬貨などを使って、ノブをUNLOCKの位置に回してください。



スキャナを移動するとき

スキャナの移動時は、10円硬貨などを使って、ノブをLOCKの位置に回してください。

キャリッジが固定されるため、移動中にキャリッジが動く心配がありません。
詳しくは、ユーザズガイド(P.141)で説明しています。



電源の接続と動作の確認

コンピュータと接続する前に、電源を接続して正常に動作するか確認します。



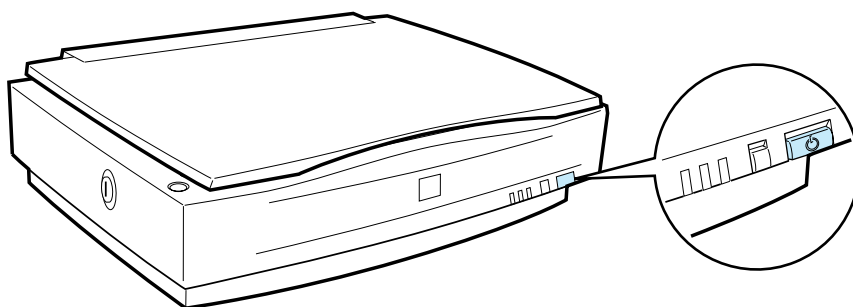
⚠️ 注意

- 巻頭の「安全にお使いいただくために」を参照の上、正しくお取り扱いください。
- 長い間スキャナを使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

1

OPERATEスイッチがオフであることを確認します。

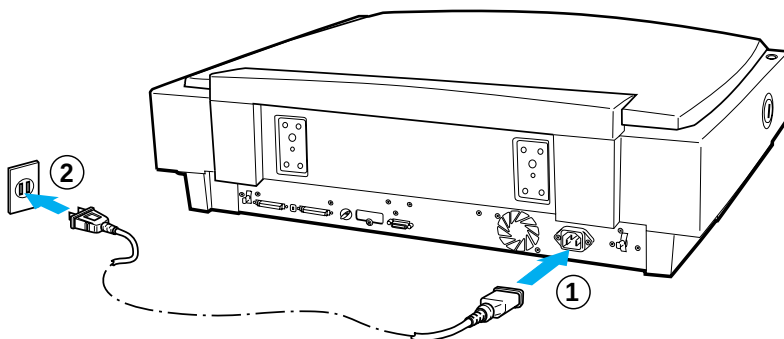
OPERATEスイッチが奥に押されている状態だと、オンになっています。もし、オンになっていたらオフにしてください。



2

コンセントの電圧がAC100Vであることを確認し、電源コードを接続します。

①電源コードのコネクタ側をスキャナに差し込み ②プラグをコンセントに差し込みます。

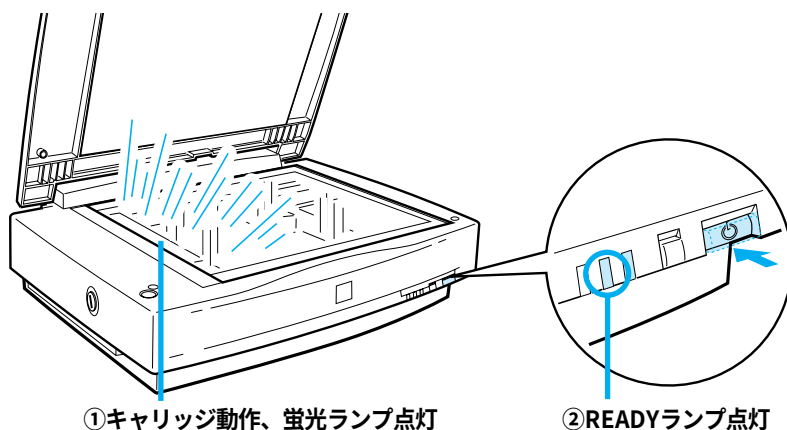


3

OPERATEスイッチを押して電源をオンにします。

次の2点を確認してください。確認できれば正常です。

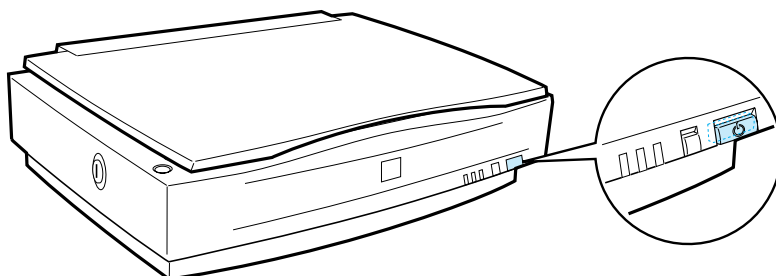
- ①電源をオンにしたあと、キャリッジが少し動いて、蛍光ランプ(白色)が試験点灯するか
- ②そのあとで **READY** ランプが点灯するか



—電源をオンにしたときに **ERROR** ランプと **READY** ランプが点滅したら—
これは、輸送用固定ノブが **LOCK** の状態のため、キャリッジが動作できないことを示しています。電源をオフにしてから、4ページを参照してノブを **UNLOCK** の位置に回してください。

4

以上で動作確認は終了です。このあとはコンピュータと接続するので、スキャナの電源をオフにしておきます。



Windows PC との接続

ここでは、スキャナと Windows PC との SCSI 接続について説明しています。

- SCSI 接続の手順 P. 8
- SCSI ボードと SCSI ドライバの組み込み P.10
- スキャナ接続前の確認 P.12
- SCSI ID とターミネータの設定 P.14
- SCSI ケーブルの接続 P.16
- 情報ファイルの組み込み (Windows95) P.17
- SCSI の基礎知識 P.20

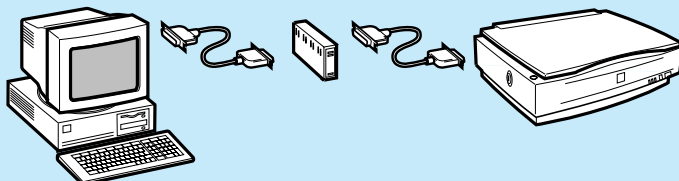
SCSI 接続の手順

まず、SCSI接続手順の概要を説明します。詳細はそれぞれの参照先をご覧ください。



ポイント

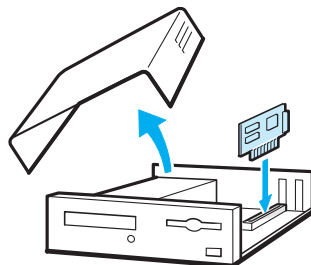
SCSI(スカジー)接続は、スキャナをはじめ、外付けハードディスク、CD-ROMドライブなどの周辺装置を最大7台まで接続することを可能にします。これらの機器はSCSI機器またはSCSIデバイスと呼ばれ、デジーチェーン(数珠つなぎ式)で1台のコンピュータに接続できます。



複数のSCSI機器を接続する場合は、お使いのSCSIボードやSCSI機器のコネクタに合ったケーブルをお買い求めください(10、11ページ参照)。

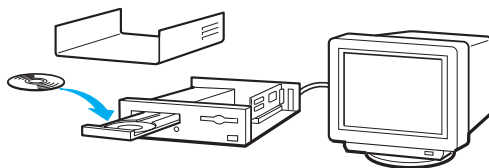
- 1 コンピュータの電源をオフにします。カバーを取りはずして、SCSIボードを取りつけます。

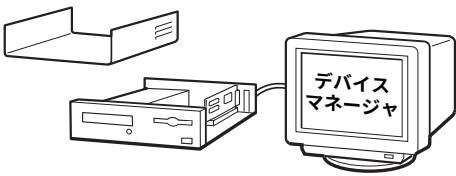
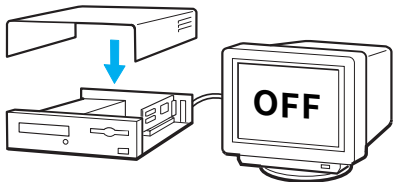
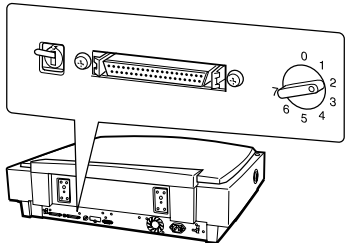
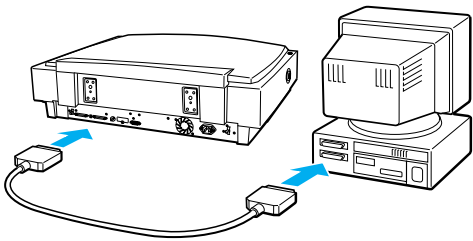
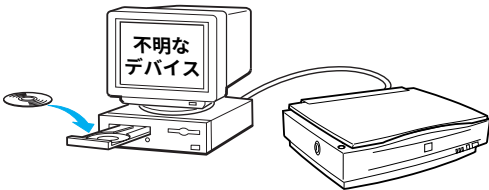
→ 10、11 ページ参照 (詳細はコンピュータおよびSCSIボードの取扱説明書を参照)



- 2 コンピュータの電源をオンにして、SCSIドライバを組み込みます。
この時、コンピュータのカバーはまだ取り付けないでください。
また、Windows95/98/NTのCD-ROMが必要な場合があります。

→ SCSIボードの取扱説明書を参照



3 スキャナを接続する前に、SCSI ボードが正しく認識されたか確認します。 → 12 ページ参照	
4 認識を確認したら、コンピュータの電源をオフにしてカバーを取りつけます。 → コンピュータの取扱説明書を参照	
5 スキャナの SCSI IDとターミネータを設定します。 → 14 ページ参照	
6 スキャナとコンピュータを SCSI ケーブルで接続します。 → 16 ページ参照	
7 スキャナの電源をオンにしてから、コンピュータの電源をオンにします。 ● Windows95 でスキャナが認識されたら、スキャナの情報ファイルを組み込みます。 → 17 ページ参照 ● Windows98 でスキャナが認識されたら、スキャナの情報ファイルおよび EPSON TWAIN Pro を組み込みます。 → 24 ページ参照	

SCSI ボードと SCSI ドライバの組み込み

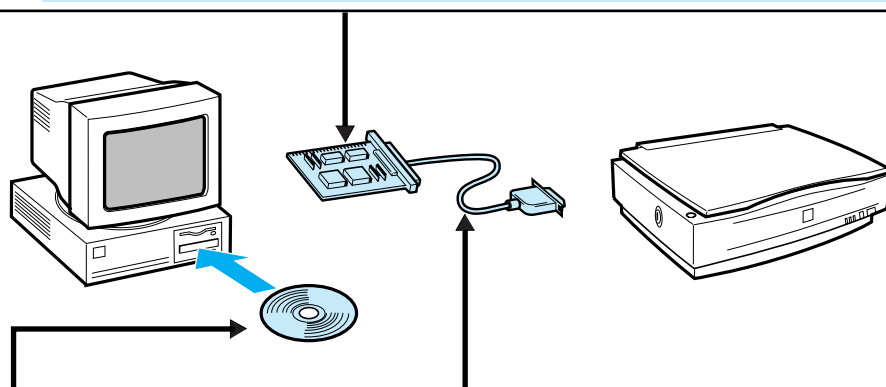
コンピュータに、エプソン推奨のSCSIボードを取りつけ、SCSIドライバをインストールしてください。手順については、コンピュータとSCSIボードの取扱説明書をご覧ください。

デスクトップコンピュータと接続する場合

SCSIボード：

エプソン推奨のSCSIボードをお使いください。推奨SCSIボードについては、エプソンFAXインフォメーションの「[スキャナ・その他製品関連情報]」で最新の情報をご提供しております。本書の裏表紙でFAXインフォメーションの番号をご確認の上、ご利用ください。

なお、推奨外のSCSIボードでは、動作の保証は致しかねますのでご注意ください。



推奨SCSIケーブル

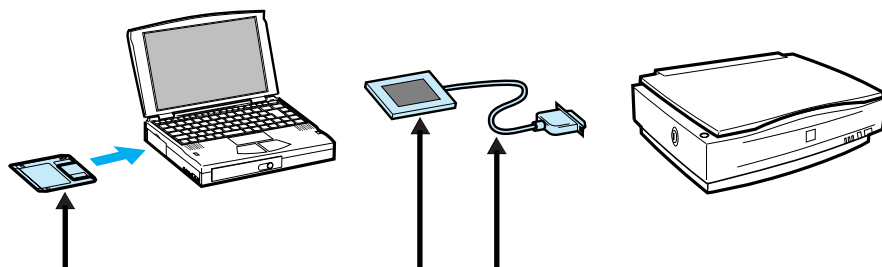
型番	ケーブル仕様		
EPSON製 GTATSCCB3	50ピン高密度ピンタイプ × 50ピン高密度ピンタイプ		

※お使いのSCSIボードやSCSI機器によってコネクタ形状が異なりますので、お使いのSCSIボードやSCSI機器のコネクタに合うケーブルをお買い求めください。

SCSIドライバ：

Windows95/98/NTのCD-ROMに入っているドライバか、またはSCSIボード指定のドライバをインストールしてください。

ノートブックコンピュータと接続する場合



EPSON製 SCSIカード：

型番 ： GTSCIFS2
 接続スロット： PCMCIAスロット (TYPE II)
 同梱品 ： SCSIカード、SCSIケーブル(50ピン高密度ピンタイプ)、
 SCSIドライバ

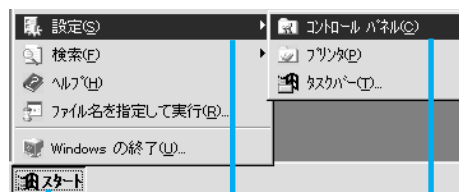
※そのほかの動作確認している SCSI カードについては、エプソン FAX インフォメーションの「スキャナ・その他製品関連情報」で最新の情報をご提供しております。本書の裏表紙で FAX インフォメーションの番号をご確認の上、ご利用ください。
 なお、動作確認されていない SCSI カードでは、動作の保証は致しかねますのでご注意ください。

スキャナ接続前の確認

SCSIボードの取り付けとSCSIドライバのインストールが終了したら、スキャナを接続する前に、SCSIボードが正しく認識されたか確認することをおすすめします。

Windows95/98 の場合

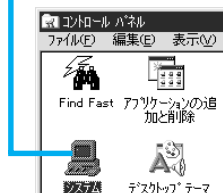
- 1 スタートボタンをクリックします。[設定] にカーソルをあわせ、[コントロールパネル] をクリックします。



クリックし、 カーソルをあわせて クリックします

- 2 [システム] アイコンをダブルクリックし、[デバイスマネージャ] タブをクリックします。

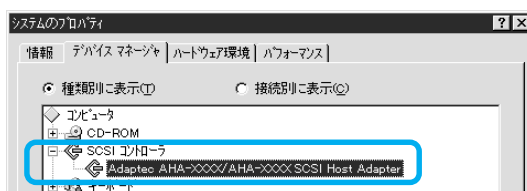
ダブルクリックして、



クリックします



- 3 SCSIコントローラの下に、お使いの SCSI ボードが認識されているか確認します。



- SCSIボードが正しく認識されていることが確認できたら、14 ページに進んでスキャナを接続してください。
- SCSIボードが認識されていない場合は、67 ページを参照して対処してください。

WindowsNT の場合

WindowsNT で SCSI 接続する場合、SCSI ボードのメーカーや型番などによって、固有の問題 * があります。この内容は WindowsNT の readme ファイルに記載されていますので、必ずお読みの上、対処してください。

readme ファイルが保存されている場所は、WindowsNT の取扱説明書に記載されています。

* ネットワークボードと、I/O ポートアドレスなどの設定が重複することがあります。また、SCSI ケーブルやターミネータの種類に制限がある場合があります

固有の問題を解決したら、WindowsNT の取扱説明書を参照し、SCSI ドライバを組み込んでください。SCSI ドライバが正しく組み込まれたかどうかは、次の手順で確認できます。

WindowsNT 4.0 の場合

[コントロールパネル] の [SCSI アダプタ] をダブルクリックします。[ドライバ] タブをクリックすると、組み込まれている SCSI ドライバ名が表示されます。

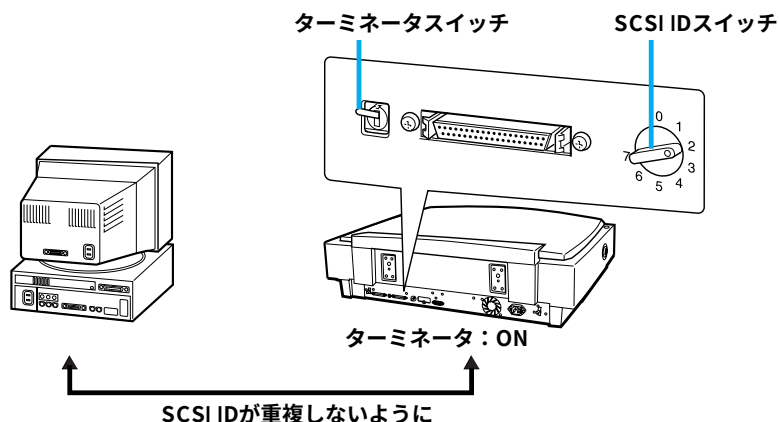
WindowsNT 3.51 の場合

[メイン] グループの [WindowsNT セットアップ] をダブルクリックします。[設定] メニューから [SCSI アダプタの追加と削除] を選ぶと、組み込まれている SCSI ドライバ名が表示されます。

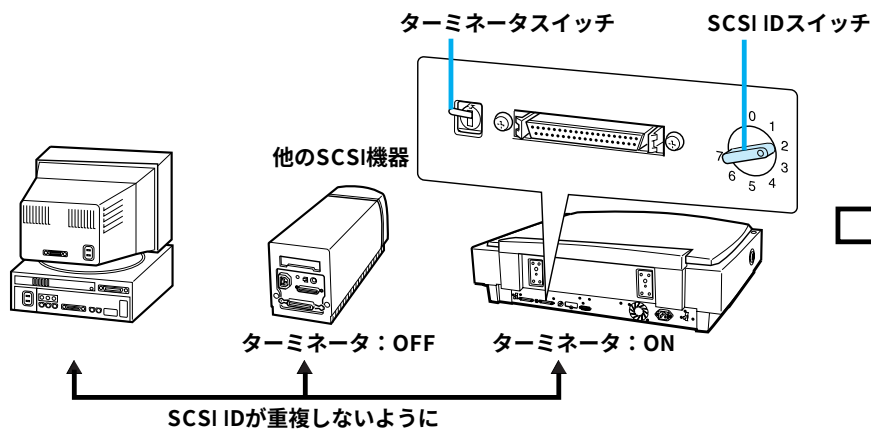
- 固有の問題を解決し、SCSI ドライバが正しく組み込まれていることが確認できたら、次ページに進んでスキャナを接続してください。
- SCSI ドライバが正しく組み込まれていない場合は、WindowsNT の取扱説明書を参照して対処してください。

SCSI ID とターミネータの設定

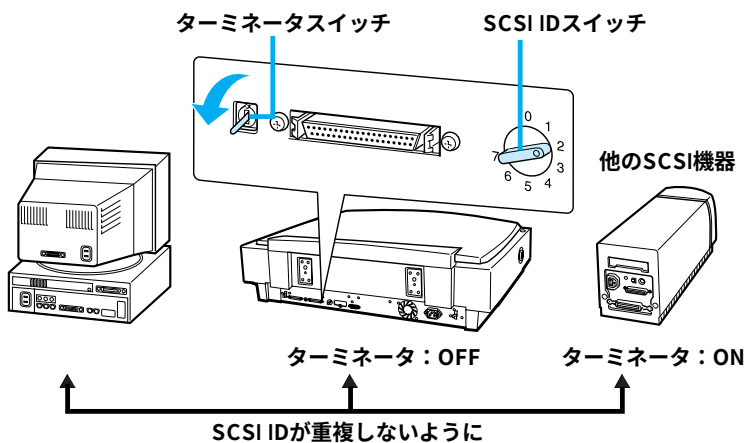
スキャナを単独で接続する場合



デジチェーンの終端に接続する場合



デジチェーンの途中に接続する場合

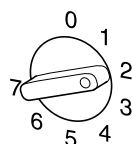


TERMINATOR SW(ターミネータ)：

出荷時設定 (ON) のままお使いください。OFF にすると正常に動作しません。

**SCSI ID：**

出荷時設定 (ID=2) のまま使えます。設定を変える必要はありません。

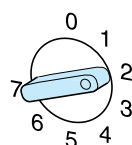
**TERMINATOR SW(ターミネータ)：**

出荷時設定 (ON) のままお使いください。OFF にすると正常に動作しません。

**SCSI ID：**

×印がついていない番号の中で、他の SCSI 機器が使用していない番号に設定します。重複していると正常に動作しません。

ID	可否	備考
0		通常、ハードディスクなどで使用
1		通常、ハードディスクなどで使用
2		出荷時設定
3		
4		
5		
6		
7	×	通常、SCSI ボードが使用

**TERMINATOR SW(ターミネータ)：**

OFF にしてお使いください。ON のままだと正常に動作しません。



SCSI ケーブルの接続



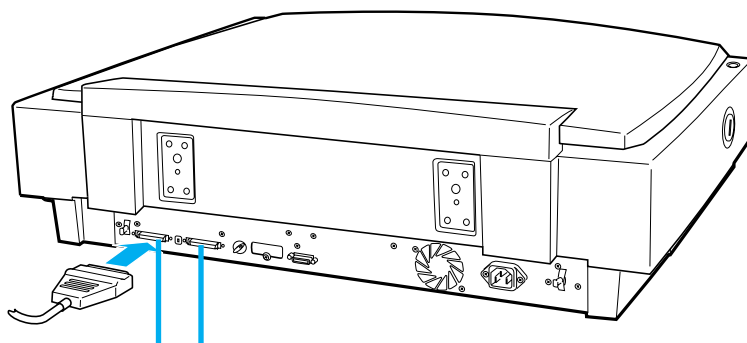
注意

接続する前に、コンピュータと、スキャナの電源がオフになっていることを確認してください。電源がオンの状態でケーブルを抜き出しすると、機器自体の故障の原因になります。

1

SCSI ケーブルを接続します。

カチッと音がするまで差し込んでください。



複数の SCSI 機器を接続できますので、スキャナには SCSI コネクタが 2 つあります。どちらのコネクタに接続してもかまいません。

2

ケーブルのもう一方を、コンピュータ (SCSI ボード) や他の SCSI 機器などに接続します。

このあとは、お使いの環境に応じて下記のページをご覧ください。

- Windows95 をお使いの場合 次ページへ
- Windows98 をお使いの場合 20 ページへ
- WindowsNT をお使いの場合 20 ページへ

情報ファイルの組み込み (Windows95)

Windows95をお使いの場合、スキャナをSCSIで接続した後、はじめてコンピュータの電源をオンにすると、Windows95のプラグ&プレイ機能によりスキャナが認識されます。このときは、次の手順にしたがってスキャナの情報ファイルをインストールしてください。

1

まずスキャナの電源をオンにします。次にコンピュータの電源をオンにし、Windows95を起動します。

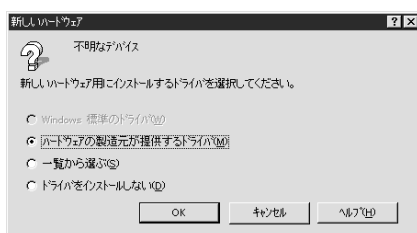
必ず、この順番を守ってください。そうしないと、スキャナが認識されません。

2

Windows95のプラグ&プレイ機能によりスキャナが認識されます。

このときに表示される画面が、Windows95のバージョンにより異なります。表示される画面に応じ、次の手順でスキャナの情報ファイルをインストールしてください。

【新しいハードウェア】の場合



- 1 ES-6000 ソフトウェアCD-ROMをセットします。

【デバイスドライバウィザード】の場合



- 1 ES-6000 ソフトウェアCD-ROMをセットし、**次へ** ボタンをクリックします。

ES-6000ソフトウェアCD-ROMをセットすると次の画面が自動的に表示されますがここでは **閉じる** ボタンをクリックしてこの画面を閉じてください。



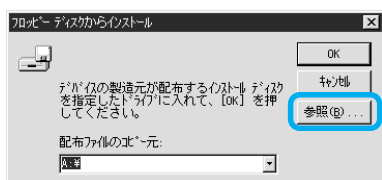
→次ページにつづく

→次ページにつづく

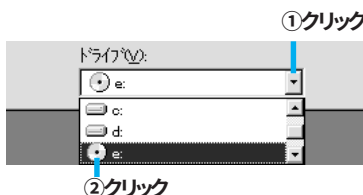
【新しいハードウェア】のつづき

- 2 [ハードウェアの製造元が提供するドライバ] が選択されていることを確認し、**OK** ボタンをクリックします。

- 3 **参照** ボタンをクリックします。



- 4 ①矢印ボタンをクリックし、② CD-ROM ドライブのアイコンをクリックします。



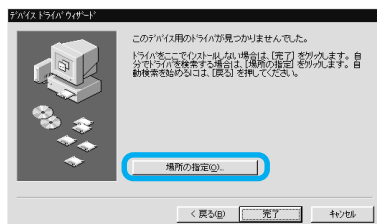
- 5 [Win95] フォルダをダブルクリックし、**OK** ボタンをクリックします。



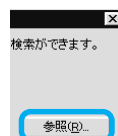
→次ページにつづく

【デバイスドライバウィザード】のつづき

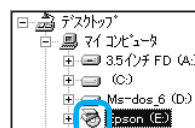
- 2 しばらくして次の画面が表示されたら、**場所の指定** ボタンをクリックします。



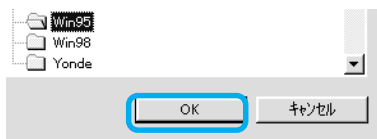
- 3 **参照** ボタンをクリックします。



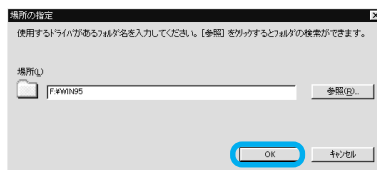
- 4 CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。



- 5 [Win95] フォルダをクリックして、**OK** ボタンをクリックします。



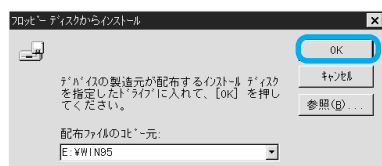
- 6 **OK** ボタンをクリックします。



→次ページにつづく

[新しいハードウェア] のつづき

- 6 次の画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックします。情報ファイルがインストールされます。

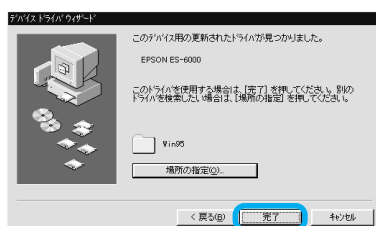


インストールはすぐに終了します。この処理により、スキャナの情報ファイルがWindows95のシステムに書き込まれます。

この処理でインストールされるのは、スキャナの情報ファイルのみです。画像の取り込みに必要なソフトウェア (EPSON TWAIN Pro など) はインストールされませんので、34 ページを参照してインストールしてください。

[デバイスドライバウィザード] のつづき

- 7 次の画面が表示されたら情報ファイルのインストールは終了ですので、**完了** ボタンをクリックします。



インストールはすぐに終了します。この処理により、スキャナの情報ファイルがWindows95のシステムに書き込まれます。

この処理でインストールされるのは、スキャナの情報ファイルのみです。画像の取り込みに必要なソフトウェア (EPSON TWAIN Pro など) はインストールされませんので、34 ページを参照してインストールしてください。

インストールによって登録される内容

EPSON スキャナの下に [EPSON SCANNER ES-6000] が表示 (認識) されます。

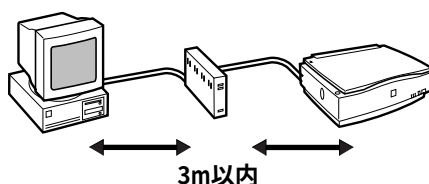
デバイスマネージャの表示方法：
[マイコンピュータ] アイコンを右クリックします。[プロパティ] を選び、[デバイスマネージャ] タブをクリックします。



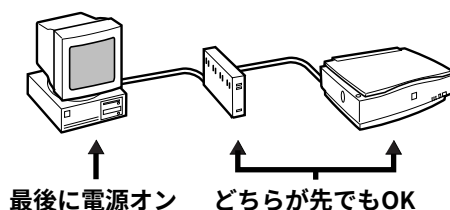
次ページへ

SCSI の基礎知識

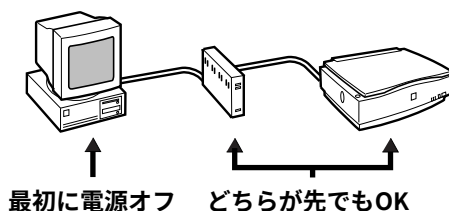
- 複数の SCSI 機器を接続する場合は、デージーチェーン全体のケーブル総延長を 3メートル以内にしてください。これ以上延長すると、SCSI 機器全体の動作が不安定になることがあります。



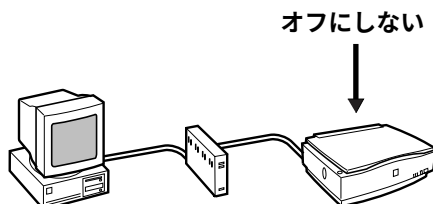
- SCSI 機器を接続した場合は、まず SCSI 機器から電源をオンにし、最後にコンピュータの電源をオンにしてください。先にコンピュータの電源をオンにすると、SCSI 機器が認識されません。また、コンピュータが正常に動作しないことがあります。



- 電源をオフにするときは、まずコンピュータ、次に SCSI 機器の順でオフにしてください。



- コンピュータの使用中は、ターミネータが ON (有効) になっている SCSI 機器の電源をオフにしないでください。また、コンピュータの使用中にスキャナの電源をオン／オフすると、正常に取り込みができなくなることがあります。



ソフトウェアのインストール

ここでは、スキャナをPCに直接接続して使用する場合に
必要なソフトウェアのインストール手順を説明しています。

- システム条件の確認 P.22
- 画像データ容量の目安 P.23
- Windows98 でのインストール P.24
- Windows95/NT でのインストール P.34

スキャナをネットワーク環境で利用する場合に必要な
ソフトウェアのインストール手順については、ネット
ワークガイドをご覧ください。

システム条件の確認

EPSON TWAIN Proを使用して画像を取り込むには、以下の環境が必要です。

CPU	486/33MHz 以上（Pentium 搭載機を推奨）	
OS	Windows95、Windows98、WindowsNT 3.51 以降（日本語版のみ）。 Windows3.1では使用不可。（Windows95でも、16bit版のTWAIN対応ソフトでは使用不可）	
表示	解像度	640 × 480 ドット以上（1024 × 768 ドット以上を推奨）
	色数	High Color（16ビット）以上* （True Color（32ビット）を推奨） * 256 色表示になっている場合、表示解像度を下げる（例：1024 × 768 → 800 × 600）と、High Color で表示できるようになります。
メモリ	カラー原稿の取り込みでは、64MB 以上を推奨します。メモリ容量は、多いほど有利です。	
ハードディスク容量	必要な容量は画像データによります。次ページに、画像データ容量の目安を記載していますので参考にしてください。	
インターフェイス	エプソン推奨のSCSIボードを装着し、かつSCSIドライバが組み込まれていること	

画像データ容量の目安

画像データの容量は、原稿の種類・取り込みの条件・保存するファイル形式などによって大きく異なります。以下にTIFFファイルで保存した場合の容量の目安を示しますので、参考にしてください。

■ 取り込む画像の容量の目安は、EPSON TWAIN Proの「出力サイズ」項目で確認することができます。

■ A3の場合は、画像にもよりますが、基本的にはA4の倍の容量になります。

色数	サイズ	解像度		
		350dpi	800dpi	1200dpi
24bit カラー (1,677 万色)	A4	約 34MB	約 177MB	約 399MB
8bit グレー (256 階調)		約 11MB	約 59MB	約 133MB
モノクロ		約 1.5MB	約 7.5MB	約 17MB



ポイント

- ハードディスクには、最低でも取り込む画像のデータ容量の2倍以上の空き容量がないと、取り込むことはできません。
- 解像度は必要以上に上げないでください。必要以上に上げて印刷品質は向上しませんし、画像の取り込み／保存／読み込みなどに時間がかかります。
- 取り込んだ画像をインクジェットプリンタなどで印刷する場合、画像の解像度は印刷解像度の1/3程度で十分です。それ以上解像度を上げて印刷品質は向上しませんし、印刷に時間がかかります。
ただし、EPSON PMカラープリンタで印刷する場合、画像の解像度は印刷解像度の1/2が最適です。

Windows98でのインストール

インストールの際、ES-6000ソフトウェアCD-ROMとWindows98のCD-ROMが必要です。

EPSON TWAIN Pro のインストール

Windows98環境でのインストール方法は、スキャナをお使いの環境により2通りに分けられます。

■ Windows98 プレインストール版のコンピュータをお使いで、はじめて ES-6000 を接続した場合

この場合、スキャナは新しいハードウェアとして認識されますので、プラグ&プレイによりインストールします。

■ Windows95 環境で ES-6000 を接続済み（情報ファイルをインストール済み）で、その後 Windows95 から Windows98 にアップデートした場合

この場合、スキャナは新しいハードウェアとして認識されませんので、ドライバの更新によりインストールします。

まずはスキャナを接続し、スキャナが新しいハードウェアとして認識されるかどうかを確認します。

1

まずスキャナの電源をオンにします。次にコンピュータの電源をオンにし、Windows98 を起動します。

スキャナが新しいハードウェアとして認識され、次の画面が表示された場合



この画面が表示されるまで、ドライバ情報データベースの作成でしばらく時間がかかります。その間お待ちください。

この場合は、**プラグ&プレイ**によりインストールします。

→次ページにつづく

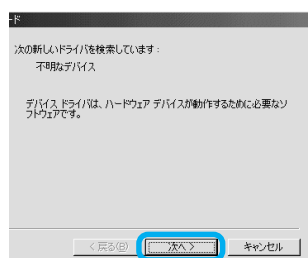
スキャナが認識されず、Windows98 が起動した場合

この場合は、**ドライバの更新**によりインストールします。

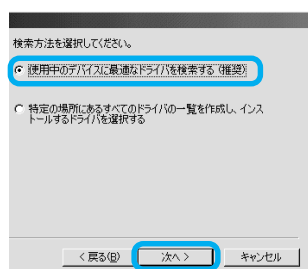
→次ページへつづく

プラグ & プレイでのインストール

- 1 **次へ** ボタンをクリックします。



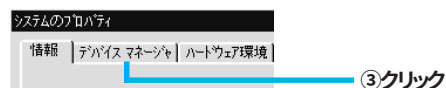
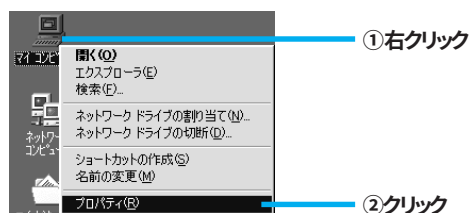
- 2 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する] が選択されていることを確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



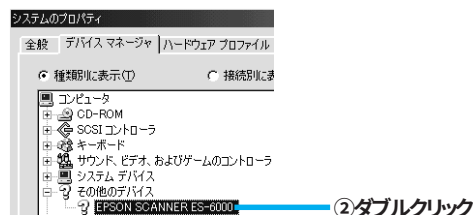
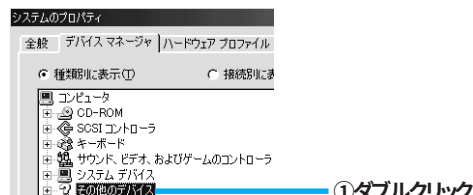
→ 6 に進む

ドライバの更新によるインストール

- 1 ① [マイコンピュータ] アイコンを右クリックし、② [プロパティ] を選びます。
③ [デバイスマネージャ] タブをクリックします。

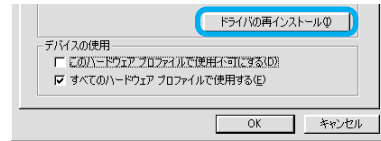


- 2 ① [その他のデバイス] をダブルクリックし、② [EPSON SCANNER ES-6000] をダブルクリックします。

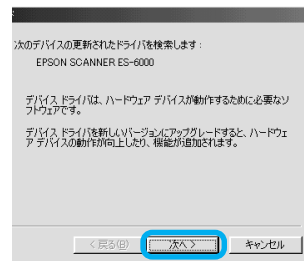


→ 3 に進む

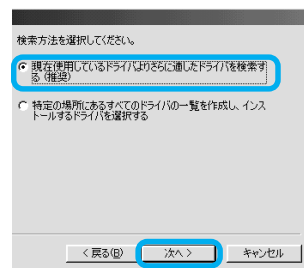
- 3 **ドライバの再インストール** ボタンをクリックします。



- 4 **次へ** ボタンをクリックします。



- 5 [現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する] が選択されていることを確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



- 6 ES-6000 ソフトウェア CD-ROM をセットします。

- 7 ① [フロッピーディスクドライブ] のチェックをはずします。② [検索場所の指定] をチェックして、③ **参照** ボタンをクリックします。

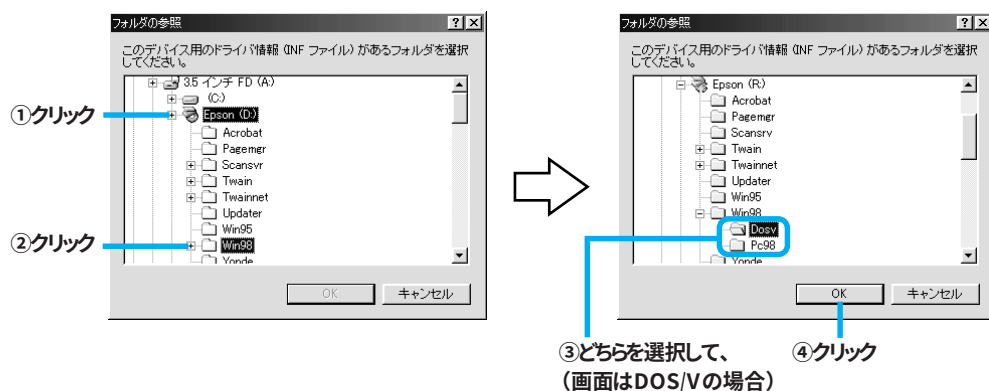
① **クリックしてチェックをはずします**



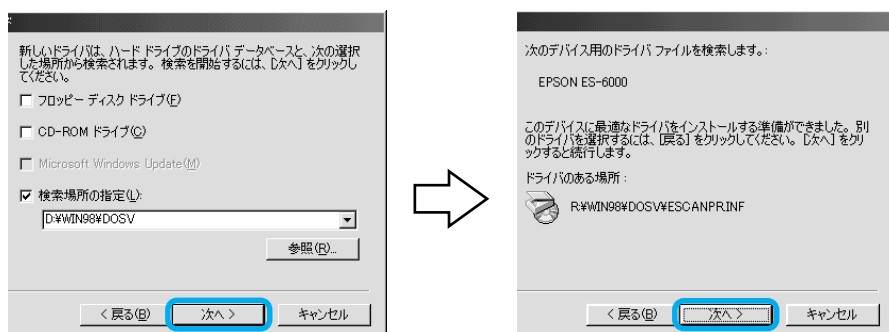
② **クリック**

③ **クリック**

- 8 ① CD-ROM アイコン左の **+** をクリックし、② [Win98] フォルダ左の **+** をクリックします。③ DOS/V (IBM PC/AT 互換機) をお使いの場合は [Dosv]、PC-98 シリーズをお使いの場合は [PC98] フォルダをクリックし、④ **OK** ボタンをクリックします。



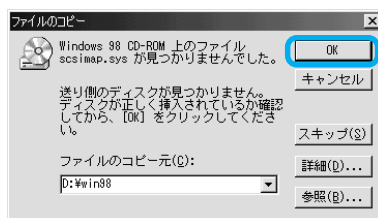
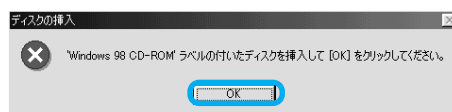
- 9 次の画面が表示されたら、**次へ** ボタンをクリックします。次に表示される画面でも、**次へ** ボタンをクリックしてください。



ファイルのコピー画面が表示され、情報ファイルやEPSON TWAIN Proなどがインストールされます。

- 10 右の画面が表示された場合は、ES-6000 ソフトウェア CD-ROM を取り出し、Windows98 の CD-ROM をセットして **OK** ボタンをクリックします。
Windows98 の CD-ROM から、必要なファイルがインストールされます。

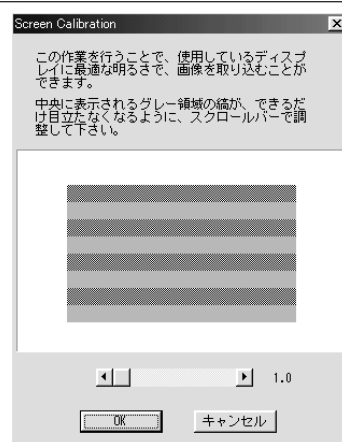
CD-ROM ドライブの準備ができていない場合は、右の画面が表示されます。この場合は、しばらく待ってから **OK** ボタンをクリックしてください。



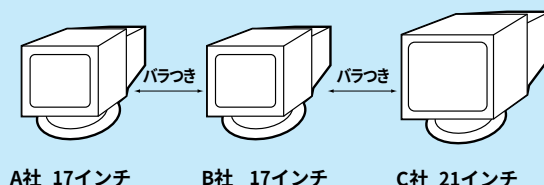
11

しばらくすると [Screen Calibration] 画面が表示されます。

この画面では、画像をお使いのディスプレイにあわせて最適な明るさで取り込めるよう、ディスプレイの明暗 (ガンマ値) の設定を読み取ります。これをスクリーンキャリブレーションといいます。



- お使いの環境によって [Screen Calibration] 画面が表示されない場合があります。この場合は、手順 13 に進んでインストールを終了した後、32 ページの [接続の確認] を参照してスクリーンキャリブレーションを行ってください。
- ディスプレイはメーカーや型番によって、明るさ・コントラスト (明暗の差) が異なります。(ガンマ値の設定にバラつきがあります)



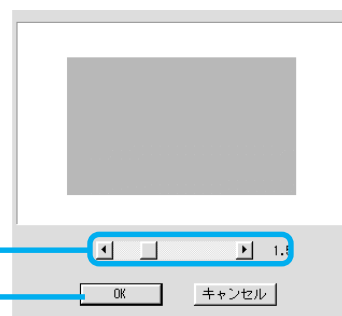
スクリーンキャリブレーションを行うことで、画像をお使いのディスプレイにあわせて最適な明るさで取り込めるようになります。

12

① スクロールバーをグレーの横縞が一番目立たない位置に動かし、② **OK** ボタンをクリックします。

ディスプレイから少し目を離して見ます。厳密には横縞は一致しませんので、一番目立たなくなる位置を探してください。

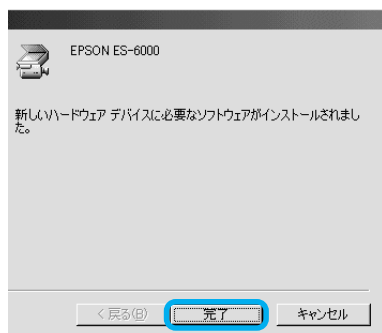
- ① スクロールバーで調整して、
② **OK** ボタンをクリック



設定は記憶されますので、ディスプレイの変更などをしない限り、設定し直す必要はありません。

プラグ & プレイでのインストール

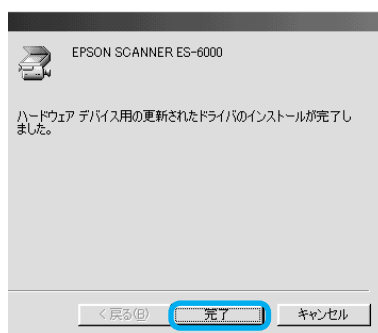
- 13 次の画面が表示されたらインストールは終了です。**完了** ボタンをクリックしてください。



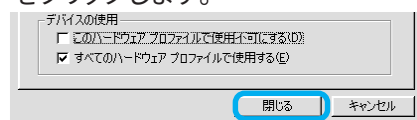
●●● 次ページへ ➡

ドライバの更新によるインストール

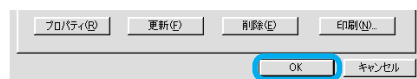
- 13 次の画面が表示されたらインストールは終了です。**完了** ボタンをクリックしてください。



- 14 次の画面が表示されたら、**閉じる** ボタンをクリックします。



- 15 [デバイスマネージャ] 画面に戻りますので、**OK** ボタンをクリックします。
このとき、[デバイスマネージャ] 画面にスキャナは表示されません。



- 16 コンピュータを再起動します。
必ず、コンピュータを再起動してください。再起動するまでの間はスキャナと通信できないため、スキャナが使用できません。

●●● 次ページへ ➡

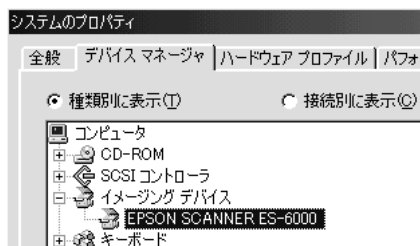
インストールによって登録される内容

■ デバイスマネージャ

イメージングデバイスの下に
[EPSON ES-6000] または [EPSON
SCANNER ES-6000] が表示 (認識)
されます。

デバイスマネージャの表示方法：

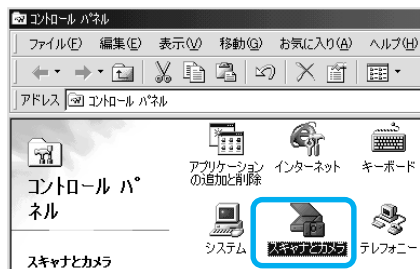
[マイコンピュータ] アイコンを右ク
リックします。[プロパティ] を選び
[デバイスマネージャ] タブをクリッ
クします。



■ コントロールパネル

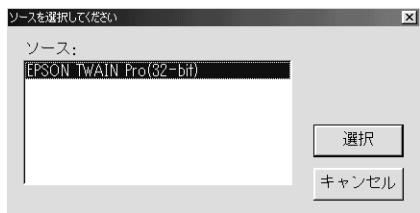
[スキャナとカメラ] アイコンが登録さ
れます。

ダブルクリックすると、[スキャナとカメ
ラのプロパティ] 画面を表示します。
詳しくは、32 ページの [接続の確認]
をご覧ください。



■ EPSON TWAIN Pro (ドライバ)

スキャナ用の TWAIN データソースです。



次に、付属のソフトウェアをインストールします。

●●● 次ページへ ➡

付属のソフトウェアのインストール

1

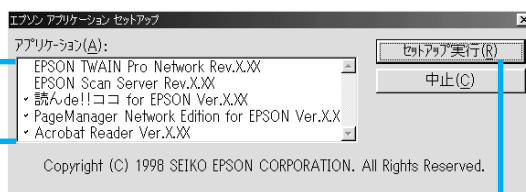
ES-6000ソフトウェア CD-ROMをセットし直します。
しばらくすると次の画面が自動的に表示されるので、[ソフトウェアのインストール] アイコンをクリックします。



2

①インストールするソフトウェアの名称をチェックし、② **セットアップ実行** ボタンをクリックしてインストールを実行します。

リスト内で名称がチェック(✓)されているソフトウェアがインストールされます。不要な場合は、リスト内の名称をクリックしてチェックをはずします。



①インストールするソフトウェアの名称をチェックして、 ②クリックします

スキャナを PC に直接接続して使用する場合は、次のソフトウェアが必要です。

ソフトウェア	説明
PageManager	スキャナビボタンの応用で必要
Acrobat Reader	付属のソフトウェアの取扱説明書（PDF ファイル）を閲覧するために必要
EPSON Scan Server	不要（スキャナをネットワーク環境で利用する場合に必要なソフトウェアです。詳しくはネットワークガイドをご覧ください。）
EPSON TWAIN Pro Network	
その他のソフトウェア	必要に応じてインストールしてください

3

このあとは、付属のソフトウェアのインストールが1つずつ進みます。画面の指示にしたがってインストールを進めてください。

付属のソフトウェアのインストールで不明なことがありましたら、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。または各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

4

インストールが終了したら、コンピュータを再起動してください。

接続の確認

インストールが終了したら、スキャナがコンピュータに正しく接続されているか確認してください。まず、スキャナの READY ランプが点灯しているか確認した後、以下の手順で接続の確認を行ってください。

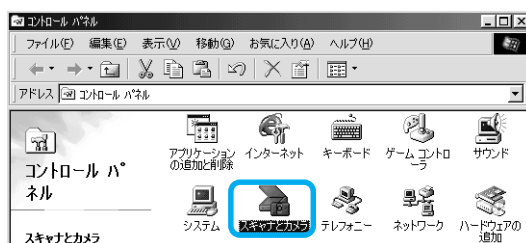
1

スタート ボタンをクリックします。[設定] にカーソルを合わせ、[コントロールパネル] をクリックします。

2

[スキャナとカメラ] アイコンをダブルクリックします。

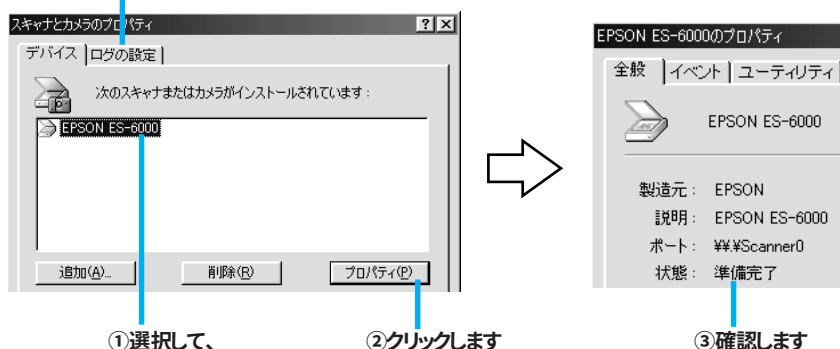
[スキャナとカメラのプロパティ] 画面が表示されます。



3

① [EPSON ES-600Q] を選択して、② **プロパティ** ボタンをクリックします。③ [全般] 画面の [状態] の表示を確認します。(次ページ参照)

「ログの設定」画面は使用しません



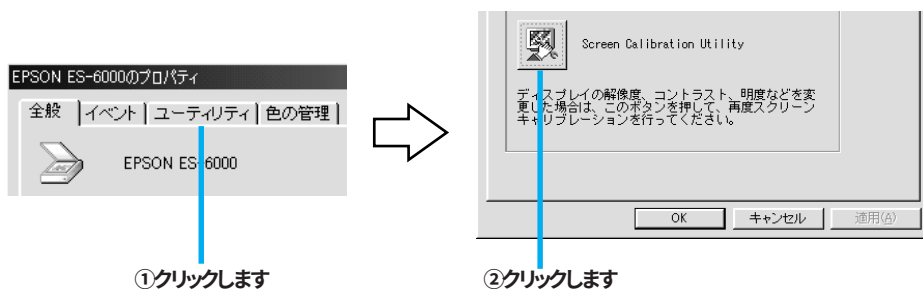
〔準備完了〕：スキャナが正しく接続されています。

〔使用不可〕：スキャナとの接続、またはコンピュータの設定が正しくありません。
この場合はさまざまな原因が考えられますので、64 ページの「スキャナが認識されない」を参照して対処してください。

- 「[イベント]」画面については、ユーザーズガイド「スキャナビボタンを使用しての取り込み」の中で説明しています。
- 「[色の管理]」画面は使用しません。

スクリーンキャリブレーション

インストール時に「Screen Calibration」画面が自動的に表示されなかった場合は、①「ユーティリティ」タブをクリックし、②「Screen Calibration Utility」ボタンをクリックしてください。



「Screen Calibration」画面が表示されますので、28 ページの手順 12 を参照してスクリーンキャリブレーションを行ってください。

Windows95/NT でのインストール

GT-7000 をお持ちの方へ

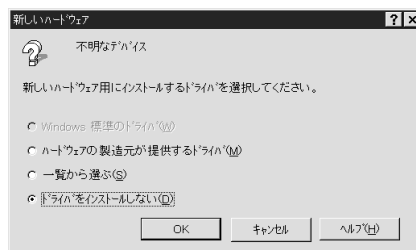
EPSON TWAIN Proをインストールする際は、EPSON Scanner Monitorを終了しておいてください。EPSON Scanner Monitorが起動していると、EPSON TWAIN Proのインストールが正常に終了しません。

EPSON Scanner Monitorを終了するには、タスクバー右端の[EPSON Scanner Monitor] アイコンをクリックし、[閉じる]を選びます。

1

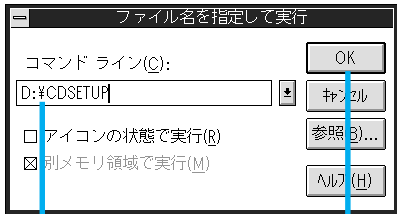
まずスキャナの電源をオンにします。次にコンピュータの電源をオンにし、Windows95/NTを起動します。

Windows95 環境で次の画面が表示された場合は、17 ページをご覧ください。



2

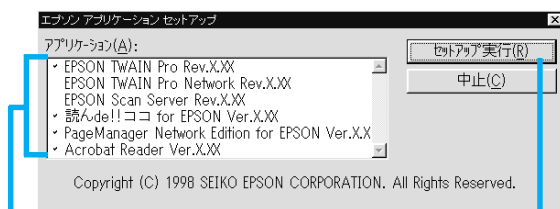
ES-6000ソフトウェア CD-ROM をセットします。

Windows95/NT4.0 の場合	WindowsNT3.51 の場合
ソフトウェア CD-ROM をセットすると、しばらくしてから以下の画面が自動的に表示されます。表示されたら、[ソフトウェアのインストール] アイコンをクリックします。 クリックします 	1 プログラムマネージャの [アイコン] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選びます。 2 CD-ROM のドライブ名と実行コマンド (CDSETUP) を半角で入力し、OK ボタンをクリックします。  入力して(画面はDドライブの例)、 クリックします

3

①インストールするソフトウェアの名称をチェックし、② **セットアップ実行** ボタンをクリックしてインストールを実行します。

リスト内で名称がチェック(✓)されているソフトウェアがインストールされます。不要な場合は、リスト内の名称をクリックしてチェックをはずします。



①インストールするソフトウェアの名称をチェックして、

②クリックします

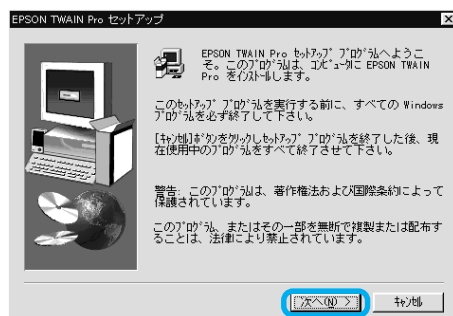
スキャナを PC に直接接続して使用する場合は、次のソフトウェアが必要です。

ソフトウェア	説明
EPSON TWAIN Pro	スキャナを使用するために必要
PageManager	スキャナビボタンの応用で必要
Acrobat Reader	付属のソフトウェアの取扱説明書 (PDF ファイル) を閲覧するために必要
EPSON Scan Server	不要 (スキャナをネットワーク環境で利用する場合に必要なソフトウェアです。詳しくはネットワークガイドをご覧ください。)
EPSON TWAIN Pro Network	
その他のソフトウェア	必要に応じてインストールしてください

EPSON TWAIN Pro のインストール

1

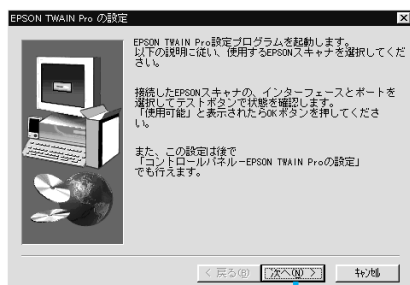
最初に EPSON TWAIN Pro のセットアッププログラムが起動しますので、**次へ** ボタンをクリックします。インストールがはじまります。



2

EPSON TWAIN Proのインストールが終了すると次の画面が表示されますので、**次へ** ボタンをクリックします。

[EPSON TWAIN Pro の設定] 画面(右の画面)が表示されます。



クリックします

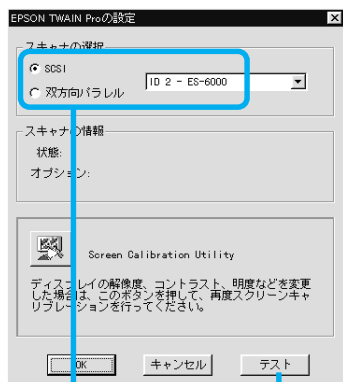


この画面でスキャナの接続テストをしますので、スキャナのREADYランプが点灯しているか確認してください。

3

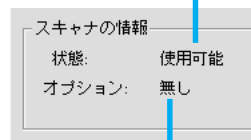
①[スキャナの選択]項目でSCSIが選択されていて、[ID X - ES-6000]と表示されていることを確認し、②**テスト** ボタンをクリックします。

③ [スキャナの情報] 項目の [状態] が [使用可能] と表示されれば正常です。



①確認して、

②クリックします



③確認します

オプションのADFを装着している場合は、ここにADFと表示されます。

● 次の場合はさまざまな原因が考えられますので、64ページの[スキャナが認識されない]を参照して対処してください。

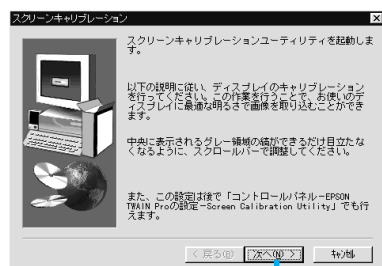
- ・ [ID X - ES-6000] が表示されない場合
- ・ **テスト** ボタンをクリックした結果、[使用不可] と表示された場合

● 他の EPSON スキャナとデイジーチェーンしている場合、SCSI ID 番号が小さい方の機種名が最初に表示されます。ES-6000が表示されていない場合は、矢印ボタンをクリックして表示させ、選択してください。

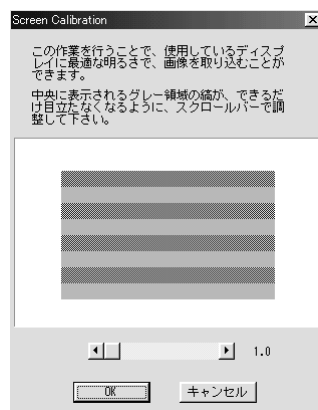
4

OK ボタンをクリックします。次の画面が表示されたら、**次へ** ボタンをクリックします。

[Screen Calibration] 画面(右の画面)が表示されます。



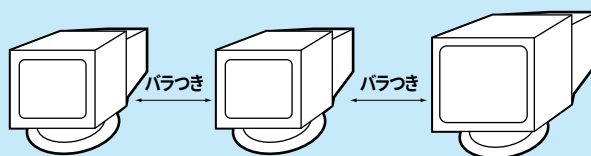
クリックします



この画面では、画像をお使いのディスプレイにあわせて最適な明るさで取り込めるよう、ディスプレイの明暗(ガンマ値)の設定を読み取ります。これをスクリーンキャリブレーションといいます。



ディスプレイはメーカーや型番によって、明るさ・コントラスト(明暗の差)が異なります。(ガンマ値の設定にバラつきがあります)



A社 17インチ

B社 17インチ

C社 21インチ

スクリーンキャリブレーションを行うことで、画像をお使いのディスプレイにあわせて最適な明るさで取り込めるようになります。

5

- ① スクロールバーをグレーの横縞が一番目立たない位置に動かし、
- ② **OK** ボタンをクリックします。

ディスプレイから少し目を離して見ます。
厳密には横縞は一致しませんので、一番
目立たなくなる位置を探してください。



設定は記憶されますので、ディスプレイの変更などをしない限り、設定しなおす必要はありません。

6

- [インストールが終了しました] と表示されたら、**OK** ボタンをクリックします。

これで EPSON TWAIN Pro のインストールは終了です。

EPSON Scanner Monitorについて

EPSON TWAIN Proをインストールすると、スキャナのスキナビボタン押下を監視するユーティリティ [EPSON Scanner Monitor] がWindowsのスタートアップに登録されます。



そのため、コンピュータ (Windows) を起動すると、EPSON Scanner Monitor も自動的に起動し、常時スキャナのスキナビボタン押下を監視します。
EPSON Scanner Monitorの詳細については、ユーザーズガイド (P.7) をご覧ください。



EPSON Scanner Monitorは、スタートアップから削除しないでください。

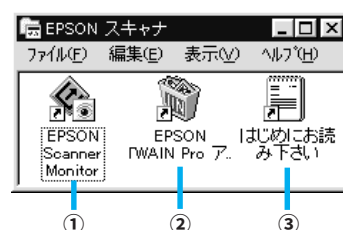
登録されるアイコンとグループ

- [コントロールパネル] に [EPSON TWAIN Proの設定] アイコンが登録されます。

[EPSON TWAIN Proの設定] では、スキャナの接続の確認と設定の変更(36 ページの ③ の手順)および、スクリーンキャリブレーション(38 ページの ⑤ の手順)を行います。



- [EPSONスキャナ] グループが作成され、次のアイコンが登録されます。



- ① EPSON Scanner Monitor(エプソン スキャナ モニタ)
スキャナのスキャナビボタン押下を監視するためのユーティリティです。Windowsのスタートアップにも、ショートカットが登録されます。詳しくは、ユーザーズガイド(P.7)をご覧ください。
- ② EPSON TWAIN Pro アンインストール
EPSON TWAIN Proを削除するためのユーティリティです。削除の仕方については、ユーザーズガイド(P.130)をご覧ください。
- ③ はじめにお読みください
ES-8000をお持ちの方は、必ずお読みください。

付属のソフトウェアのインストール

1

このあとは、付属のソフトウェアのインストールが1つずつ進みます。画面の指示にしたがってインストールを進めてください。

付属のソフトウェアのインストールで不明なことがありましたら、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。または各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

2

インストールが終了したら、コンピュータを再起動してください。

●●● 次ページへ ➡

スキャナの**基本的**な使い方

ここでは、原稿のセット方法などについて説明しています。

- 原稿のセット P.42
- 使用できる原稿 P.44

原稿のセット

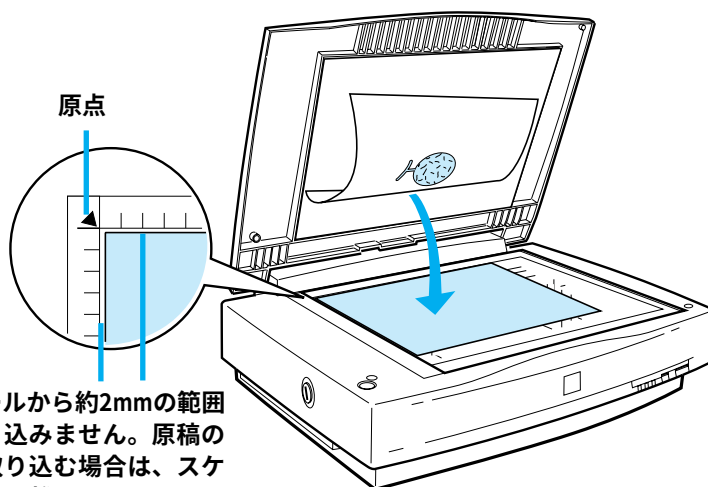
ここでは、スキャナへの原稿のセット手順を説明します。

1

原稿カバーを開きます。原稿の取り込む面を下に向け、原稿台にセットします。

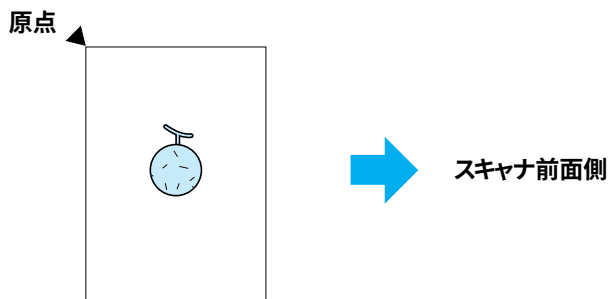
原点を合わせてまっすぐにセットしてください。

使用できる原稿のサイズや、原稿台よりも大きい原稿のセット方法については、44ページ以降で説明しています。



スケールから約2mmの範囲は取り込みません。原稿の端を取り込む場合は、スケールから離してセットしてください。

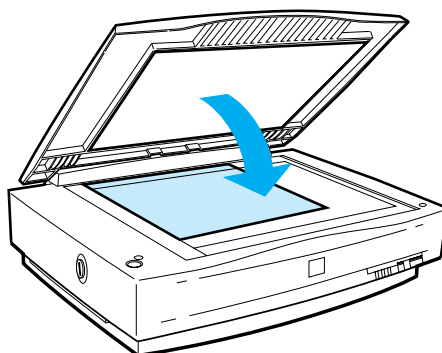
上図のようにセットした場合、取り込んだ画像の向きは次のようになります。



2

原稿が動かないよう注意しながら、原稿カバーを静かに閉じます。

原稿カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。原稿が動くと、画像が斜めに取り込まれてしまいます。

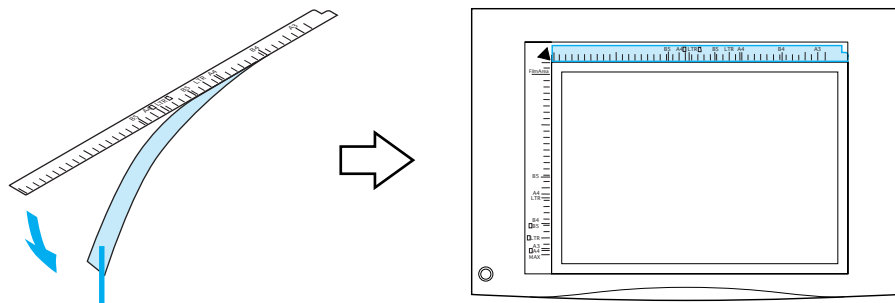


以上で原稿のセットは終了です。

スケールストップについて

原稿台の長辺には、A3より大きな原稿をセットする場合に段差ができないよう、原稿を当てるストップを付けてありません。

しかし A3 より小さな原稿をセットする場合に、原稿を当てるストップがほしい場合は、同梱のスケールストップを貼り付けてお使いください。



はがした剥離紙は、スケールストップをスキャナからはがした場合（ADF装着時など）に必要ですので、保管しておいてください。



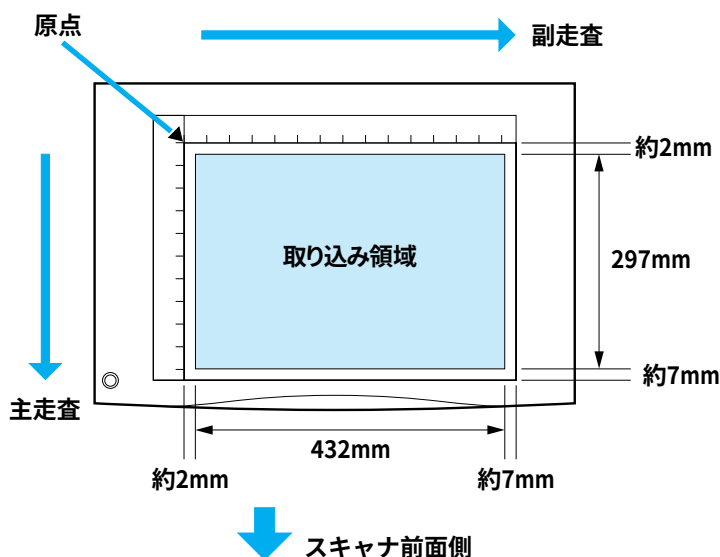
注意

オプションのADFを使用する場合は、スケールストップは貼り付けしないでください。ADF使用時にスケールストップが貼り付けられていると、原稿に傷が付くおそれがあります。

使用できる原稿

使用できるサイズ

最大A3サイズまでの大きさの原稿を取り込むことができます。ただし、原稿台に付いているスケールの内側約2～7mmの領域は取り込みません。



主走査: センサで読み取る画素の1ラインごとの読み取り方向
副走査: キャリッジの移動による読み取り方向



● 縦横のスケールには、原稿サイズのおおよその目安が示してあります。

- B5 (182mm × 257mm)
- LTR (216mm × 279mm。アメリカで使われるレターサイズ)
- A4 (210mm × 297mm)
- A3 (297mm × 420mm)

● 図面のように直行する線の多い原稿や、直線の多いイラストを取り込むときは、線の向きをスキャナの主走査または副走査にそろえるようにして原稿をセットすると、線のギザギザが少なくなります。

原稿台よりも大きい原稿のセット

原稿台よりも大きい原稿や、本などの厚い原稿を取り込むときは、原稿カバーをはずして原稿をセットすることができます。



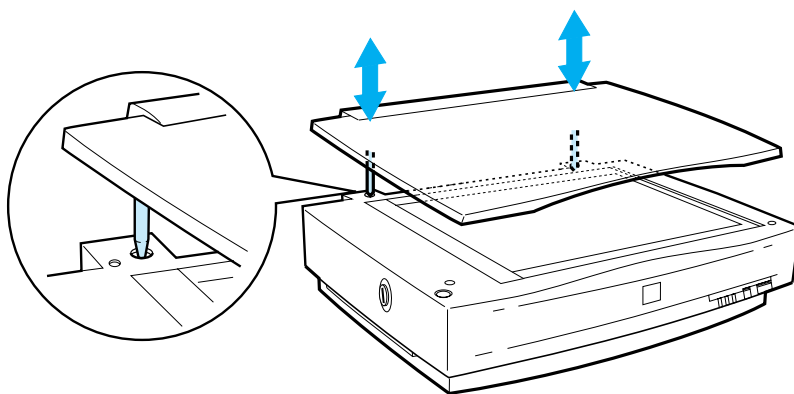
ポイント

- 原稿カバーをはずした状態で原稿をセットするときは、原稿を上から押さえて原稿台に密着させ、浮き上がらないようにしてください。
- 原稿を押さえるときは、原稿が動かないように、また力を加えすぎないように注意してください。

原稿カバーの取りはずしと取り付け

原稿カバーを取りはずすときは、原稿カバーの後ろを持ち、上に引いて取りはずします。

原稿カバーを取りつけるときは、原稿カバーの2本の軸を上から差し込みます。



注意

原稿カバーには強い力をかけたり、斜めに力を加えないでください。カバーが破損するおそれがあります。

原稿の条件について

本機は反射原稿（光を反射する原稿）を取り込むイメージスキャナです。原稿の種類によってはうまく取り込めないこともあります。以下の点にご注意ください。

- 写真、印刷物など表面が平滑な原稿を使用してください。
- 貼り込みなどで表面に段差がある原稿を取り込んだ場合、段差のところに色にじみが生じることがあります。また、厚みのある原稿を取り込んだ場合も、にじみが生じることがあります。
- OHP シートを取り込む場合、白い背景に置いて原稿がはっきり見えるように書かれていれば、取り込むことができます。
- 原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りして取り込まれることがあります。（黒い紙を原稿の裏側に重ねて取り込むと、改善できる場合があります）
- 写真フィルムなどの透過原稿を取り込むことはできません。

画像の**取り込み** (簡単編)

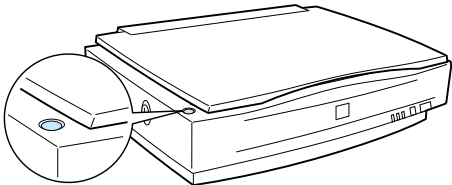
ここでは、スキャナを PC に直接接続している場合の、画像の簡単な取り込み手順を説明しています。

- 画像の取り込み方法の紹介 P.48
- EPSON TWAIN Pro の起動 P.50
- 簡単な取り込み方 P.52

スキャナをネットワーク環境で利用する場合は、ネットワークガイドをご覧ください。

画像の取り込み方法の紹介

画像を取り込むには、大きく分けて2種類の方法があります。

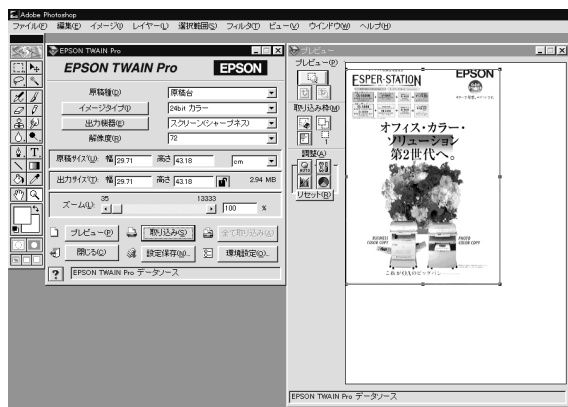
手動で TWAIN 対応ソフトと EPSON TWAIN Pro を起動して取り込む方法	スキャナピボタンを使用して取り込む方法
 Adobe PhotoshopからEPSON TWAIN Proを起動した例	

それぞれの特徴は次の通りです。

スキャナを購入後、まずは取り込んでみたい! という方は、手動で TWAIN 対応ソフトと EPSON TWAIN Pro を起動して取り込む方法をおすすめします。

■手動で TWAIN 対応ソフトと EPSON TWAIN Pro を起動して取り込む方法

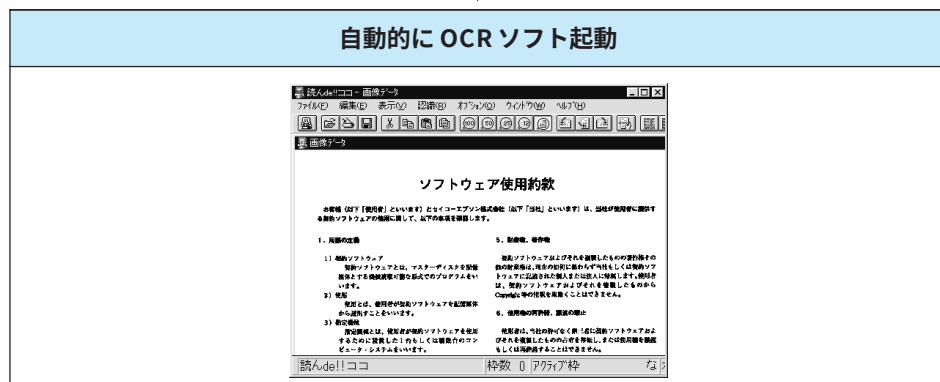
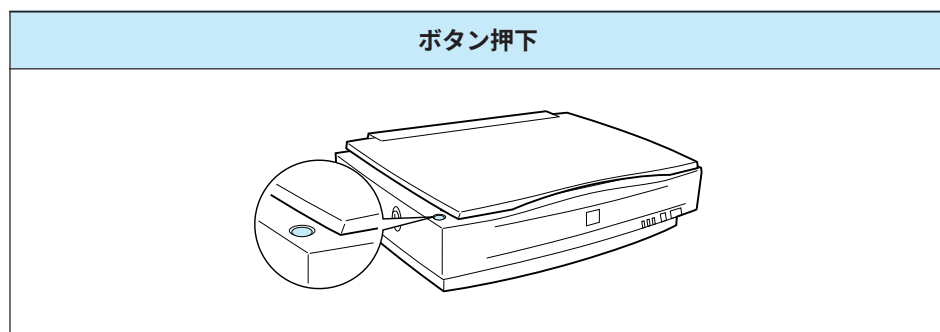
取り込み設定は多くなりますが、取り込み枠の指定や画質調整など、より高度な取り込みが行えます。



EPSON TWAIN Pro での取り込み手順については、50 ページをご覧ください。

■ スキャナビボタンを使用して取り込む方法

設定によっては、ボタンを押すだけでTWAIN対応ソフトの起動・EPSON TWAIN Proの起動・取り込み設定および取り込みなどを自動的に行えます。そのため、文字原稿の認識(OCR)用途などで、決まった設定で取り込めばよい場合に便利です。



ただし、前もって各種設定を行っておく必要があるため、まずは取り込んでみたい! という場合には不向きです(ボタン押下時の自動処理内容が増えるほど、設定内容も多くなります)。

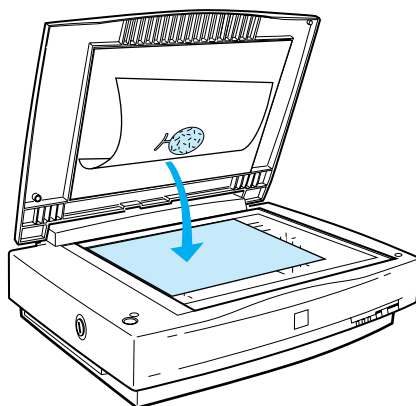
スキャナビボタンを使用しての取り込み手順については、ユーザーズガイド(P.1)をご覧ください。

EPSON TWAIN Pro の起動

1

スキャナの電源をオンにし、原稿をセットします。

コンピュータの電源をオンにする前にスキャナの電源をオンにしてください。そうしないとスキャナが認識されないため、EPSON TWAIN Pro が起動できません。



2

コンピュータの電源をオンにし、TWAIN 対応ソフトを起動します。

付属のソフトウェアは、すべて TWAIN 対応ソフトです。



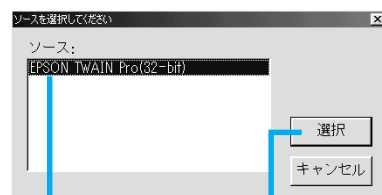
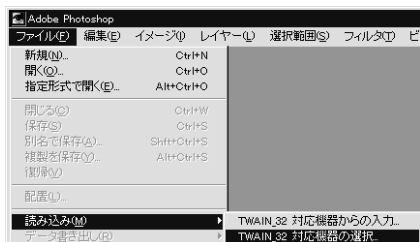
付属の OCR(光学文字認識)ソフトを使用して取り込む方へ
付属の OCR ソフトからの取り込みでは、EPSON TWAIN Pro を使わず、OCR ソフト独自の取込設定画面で取り込むことができます。付属の OCR ソフトでの取り込み手順や設定方法については、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

3

TWAIN 対応ソフトで、起動する TWAIN データソース [EPSON TWAIN Pro(32-bit)] を選びます。

付属のソフトウェアでの選択方法については、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

< Adobe Photoshop 5.0J での例 >



クリックして、

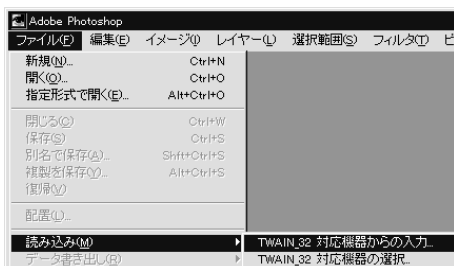
クリックします

4

TWAIN 対応ソフトで、EPSON TWAIN Proを起動します。

付属のソフトウェアでの起動方法については、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

< Adobe Photoshop 5.0J での例 >

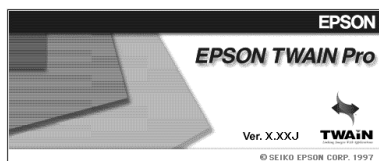


5

EPSON TWAIN Proを起動すると、スタート画面が数秒表示されたあと、[EPSON TWAIN Pro] 画面が表示されます。

スタート画面は約2秒間表示されますが、その間にスタート画面のどこかをクリックすると、すぐに [EPSON TWAIN Pro] 画面に切り替わります。

[スタート] 画面



[EPSON TWAIN Pro] 画面



上の画面が表示されずに、エラーメッセージが表示された場合は、68ページを参照して対処してください。

簡単な取り込み方

スキナーの操作に不慣れな方は、以下の説明を参照して、まず取り込んでみてください。本格的に取り込みを行う方は、ユーザズガイド(P.20)をご覧ください。

1

原稿種、イメージタイプ、出力機器などを設定します。

部は出荷時の設定です。

原稿種：

スキナーにオプションの ADF を装着していない場合は設定不要です（グレー表示されます）。ADF を使って原稿を取り込むかどうかを選びます。選択肢は次の通りです。

●原稿台

- ADF - 片面
- ADF - 両面

ADF を装着していても、スキナーの原稿台（ガラス面）にセットした原稿を取り込むときは、[原稿台] を選択します。

イメージタイプ：

画像をどのようなデータで取り込むかを、リストの中から選びます。定義済みの主な設定は次の通りです。

- 24bit カラー（カラー取り込みに適した設定）
- 8bit グレー（白黒写真の取り込みに適した設定）
- 線画（図面の取り込みに適した設定）
- OCR（文字原稿の取り込みに適した設定）



出力機器：

画像を最終的に出力する機器をリストから選びます。この設定によって、出力機器にあわせての、解像度と輪郭強調の設定を行います。

- スクリーン（シャープネス）（ディスプレイ表示に適した設定）
- EPSON XXシリーズ（での印刷に適した設定）
- OCR（文字原稿の取り込みに適した設定）

2

プレビュー ボタンをクリックして原稿をプレビュー(仮取り込み)します。

プレビューウィンドウが表示されます。

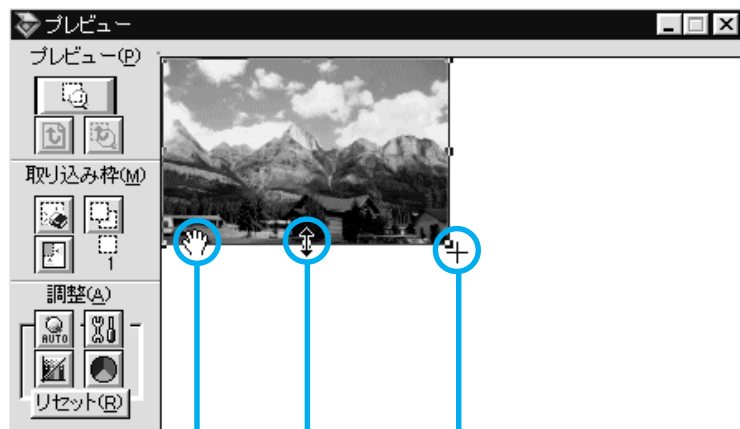
初期設定では、プレビュー後、自動的に露出(明暗)を調整します。



3

プレビューウィンドウで、取り込み枠をドラッグして指定します。

ドラッグ・・・マウスボタンを押しながらマウスを動かすこと



カーソルが+のときに、取り込み枠をドラッグして指定します

カーソルを取り込み枠の線上の■に移動すると矢印の形になります。
このとき、取り込み枠をドラッグにより拡大/縮小できます

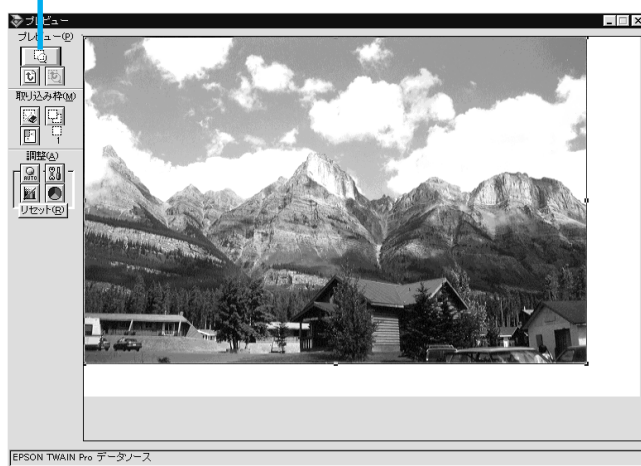
カーソルを取り込み枠の線上に移動すると手の形になります。
このとき、取り込み枠をドラッグにより移動できます

4

ズームプレビュー ボタンをクリックして取り込み枠をズーム表示し、取り込む領域を微調整します。

初期設定では、ズームプレビュー後、自動的に露出(明暗)を調整します。

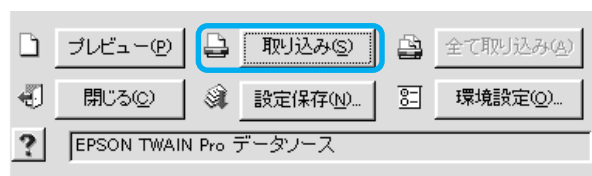
クリックします



取り込み枠をズーム表示し、自動的に露出調整されます

5

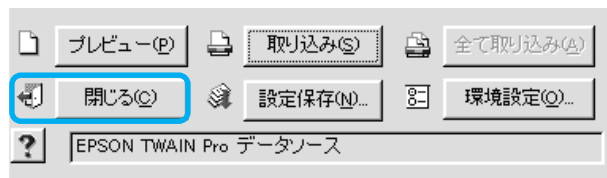
[EPSON TWAIN Pro] 画面の **取り込み** ボタンをクリックして、画像を取り込みます。



取り込んだ画像が、新規ファイルとして表示されます。(EPSON TWAIN Pro の後ろに隠れて見えない場合があります)

6

[EPSON TWAIN Pro] 画面の **閉じる** ボタンをクリックし、EPSON TWAIN Proを閉じます。

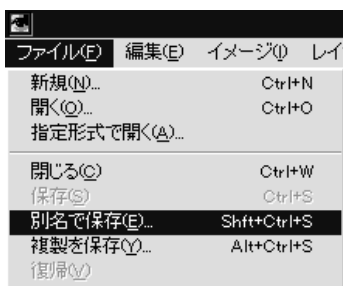


7

TWAIN 対応ソフトで、画像を保存します。

一般的には次のような手順になります。ソフトウェアによって手順が異なりますので、詳しくはお使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

1 [ファイル] メニューの [別名で保存] や [新規保存] などを選びます。



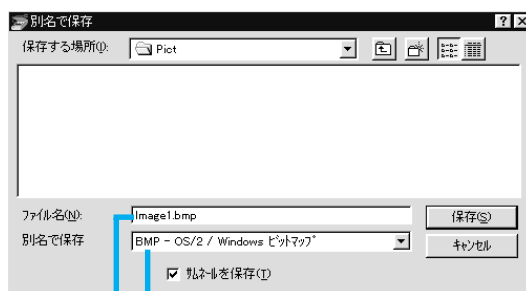
2 保存するフォルダを選びます。



保存するフォルダをダブルクリックして選びます。フォルダ名はおぼえておいてください。
(後で画像を開くときにフォルダを指定するため)

3 ファイル形式を選び、ファイル名を入力します。

- BMP形式で保存しておけば、ほとんどのソフトウェアで開くことができます。
- 保存できるファイル形式は、TWAIN対応ソフトにより異なります。TWAIN対応ソフトの取扱説明書でご確認ください。



ファイル形式を選び (BMP形式を選んだ例)、
ファイル名を入力します

4 [保存] や [OK] などのボタンをクリックして保存します。

これで画像の取り込み・保存は終了です。

このあとは、必要に応じてユーザズガイドをご覧ください。
ユーザズガイドでは、次の内容について詳しく説明しています。

- 本格的な取り込み方 P.19
- 手動での画質調整 P.31
- EPSON TWAIN Pro の機能説明 P.45

困ったときは

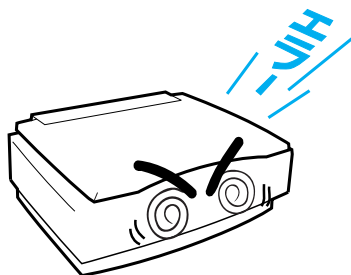
ここでは、困ったときの対処方法を説明しています。

- 故障かな？と思ったら P.58
- スキャナのエラー表示 P.60
- スキャナの電源をオンにしたときのトラブル P.61
- エラーメッセージ P.62
- スキャナが認識されない P.64
- Windows95/98 で SCSI ボードが認識されないときは P.67
- 画像取り込み時のトラブル P.68

故障かな？と思ったら

現在の症状がどれにあてはまるかを次の中から選び、それぞれの参照先をご覧ください。

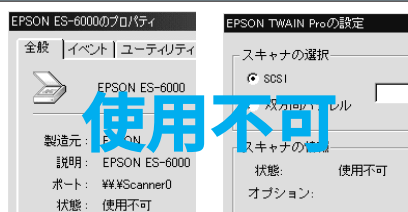
スキャナの電源をオンにしたときのトラブル



電源がオンにならない、オンになるとエラーが出るなどのトラブルの対処方法を説明しています。

→ 本書 (P.61)

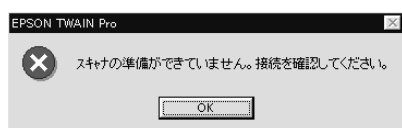
スキャナが認識されない



スキャナが認識されない場合の対処方法を説明しています。

→ 本書 (P.64)

画像取り込み時のトラブル

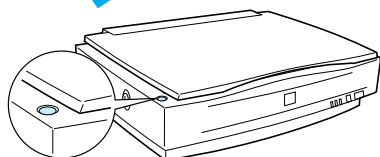


エラーメッセージが出て EPSON TWAIN Pro が起動できない、また画像が取り込めないなどのトラブルの対処方法を説明しています。

→ 本書 (P.68)

スキャナビボタン使用時のトラブル

シーン



スキャナビボタンを押しても動作がはじまらない、動作が違うなどのトラブルの対処方法を説明しています。

→ ユーザーズガイド (P.110)

取り込んだ画像の品質上のトラブル

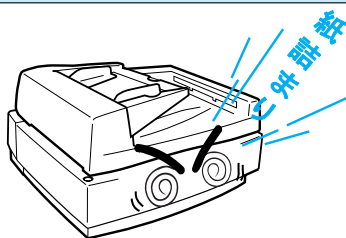


モアレが発生した例

取り込んだ画像が暗い、色がおかしい、モアレが出るなどのトラブルの対処方法を説明しています。

→ ユーザーズガイド (P.117)

ADF 使用時のトラブル



ADF での紙詰まりなどのトラブルの対処方法を説明しています。

→ ユーザーズガイド (P.124)



⚠注意

次のような場合は故障と思われますので、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

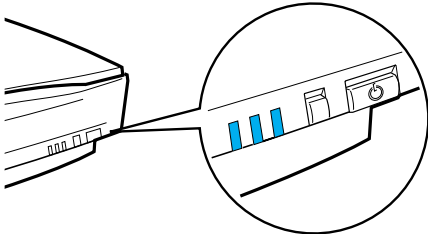
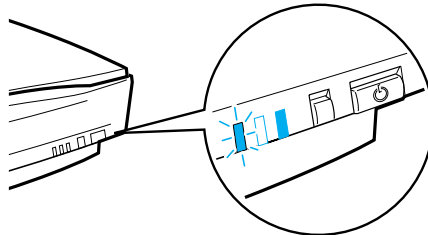
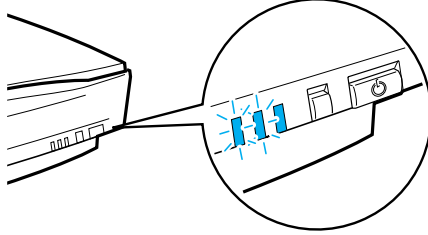
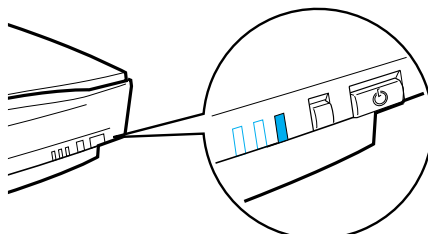
- ・ スキャナが極端に発熱する (非常に温度が高い)、ケースに変形が起こる
- ・ 変な臭いや音がする、煙が出る
- ・ スキャナの ERROR ランプが消灯しない

内部には高圧回路があるため、絶対に分解しないでください。なお、サービスセンターの連絡先は裏表紙にあります。

スキャナのエラー表示

スキャナでエラーが起こったときは、ランプの表示でエラーの内容を確認することができます。

■：点灯 ■：点滅 □：消灯

ランプ表示／エラー種類	エラーの内容／対処
コマンドエラー 	ソフトウェアの設定や送られてきたコマンドに誤りがあります。ソフトウェアで取り込み操作をもう一度やり直してください。スキャナをリセットする必要はありません。
通信エラー 	インターフェイスの接続か設定に誤りがあります。インターフェイスの接続や設定を確認してから RESET スイッチを押してください (P.14)。それでもエラーが解除されなければ、スキャナの電源をオフにし、10 秒ほど待ってからオンにしてください。
システムエラー 	スキャナの電源をオフにし、次のことを確認してください。 ① 輸送用固定ノブが UNLOCK の位置になっているか → P.4 ② ADF で紙が詰まっているか → ユーザーズガイド (P.124) 上記を確認してもエラーが起こる場合はスキャナの故障が考えられます。サービスセンターにご相談ください(裏表紙参照)。
オプションエラー 	ADFを完全に閉じていないか、またはADFに原稿がセットされていません。これらをご確認ください。

スキャナの電源をオンにしたときのトラブル

電源がオンにならない

チェック



電源プラグがコンセントに接続されていますか？

コンセントに接続してください。コンセントに電気が通じていないこともありますので、ほかの電気製品をつないで動くかどうか調べてください。

電源オンでエラーが出る

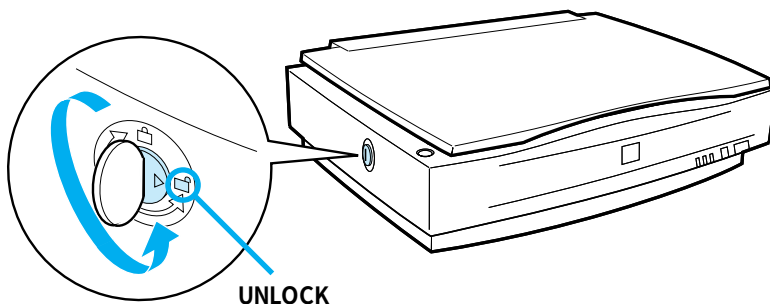
ERROR・READYランプが点滅する(システムエラーになる)場合は、次のことが考えられます。

チェック



輸送用固定ノブがLOCKの状態になっているため、キャリッジが動けない状態になっています。

電源をオフにしてから、輸送用固定ノブをUNLOCKの位置に回してください。



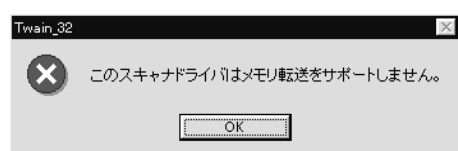
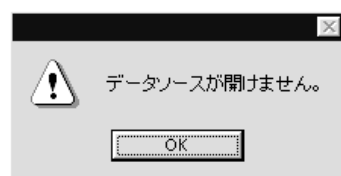
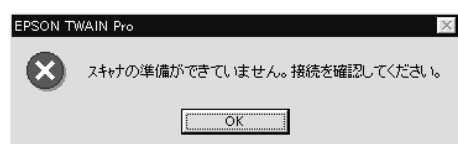
エラーメッセージ

エラーメッセージが表示された場合は、エラーの内容に応じて次のように対処してください。

ここでは、スキャナを PC に直接接続している場合に表示されるエラーメッセージについて説明しています。スキャナをネットワーク環境で利用する場合に表示されるエラーメッセージについては、ネットワークガイドをご覧ください。

TWAIN データソースまたはインターフェイスのエラー

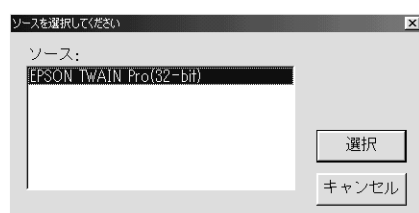
エラー の例



※エラー内容は TWAIN 対応ソフトにより異なります

原因 1 ・ 対処

以下のように TWAIN データソースを選択していないため



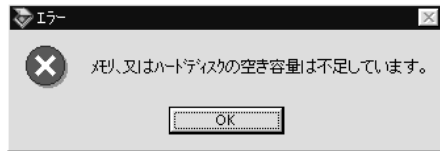
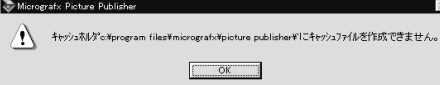
EPSON TWAIN Pro を起動する前に、TWAIN 対応ソフトで TWAIN データソースを選択してください。選択方法は TWAIN 対応ソフトによって異なりますので、TWAIN 対応ソフトの取扱説明書でご確認ください。

原因 2 ・ 対処

TWAIN データソースを正しく選択していてもこのエラーが起こる場合は、次の原因が考えられます。

- ① SCSI インターフェイスの設定に問題がある
この場合はさまざまな原因が考えられます。68 ページの「EPSON TWAIN Pro を起動できない」を参照して対処してください。
- ② 同スキャナに対して、EPSON Scan Server (スキャナをネットワーク環境で利用するためのソフトウェア) を起動している
EPSON Scan Server の起動中は、同スキャナに対して EPSON TWAIN Pro を起動することはできません。EPSON Scan Server を終了してください。

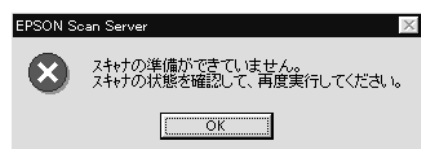
ハードディスクやメモリ関連のエラー

エラー	   
原因・対処	これらのエラーは、コンピュータのハードディスクやメモリの空き容量が不足しているときに起こります。72 ページを参照の上、空き容量を確保してください。

ADF 使用時のエラー

エラーメッセージ	対 処
ADF に用紙がありません。	ADF に原稿をセットしてください。
ADF の用紙が詰まりました。	ユーザーズガイド (P.124) を参照し、詰まっている原稿を取り除いてください。
オプションのカバーが開いています。	ADF または ADF のカバーをしっかりと閉じてください。
原稿台に用紙がないことを確認してください。	ADF から取り込む場合は、原稿台に用紙を置かないでください。
イメージの転送に失敗しました。	- 取り込み動作中は、ADF または ADF のカバーを開けないでください。 - ADF で用紙が詰まった場合にも、このメッセージが表示される場合があります。その場合は、ユーザーズガイド (P.124) を参照して対処してください。

Windows 起動時のエラー



Windowsの起動直後にこのエラーメッセージが表示された場合は、ネットワークガイド「スキャナサーバ起動時のエラー」を参照して対処してください。

スキャナが認識されない

ここでは、スキャナをPCに直接接続している場合のトラブルについて説明しています。スキャナをネットワーク環境で利用する場合のトラブルについては、ネットワークガイドをご覧ください。

チェック



接続に問題はありませんか？

インターフェイスクーブルをしっかりと接続してください。
インターフェイスクーブルに問題があることも考えられます。お使いのインターフェイスに合った正しいケーブルで接続してください。また、コネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。

チェック



スキャナの電源がオンになっていて、READYランプが点灯していますか？

スキャナと通信をして接続のテストをしますので、必ずスキャナの電源をオンにしてREADYランプが点灯した状態にしておいてください。

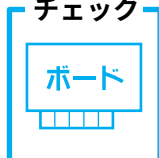
チェック



電源投入の順序は正しいですか？

コンピュータの電源をオンにする前に、必ずスキャナの電源をオンにしておいてください。 そうしないと、スキャナが認識されません。

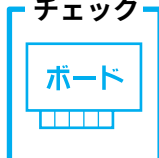
チェック



エプソン推奨のSCSIボードを使っていますか？

エプソン推奨のSCSIボード以外では動作の保証はいたしかねます。接続可能なボードについては、エプソンFAXインフォメーションの「スキャナ・その他製品関連情報」でご確認ください。FAX番号は裏表紙に記載されています。

チェック



SCSIボードは正しく取り付けられていますか？

コンピュータにしっかりと取り付けられていない可能性があります。取り付けを確認してください。



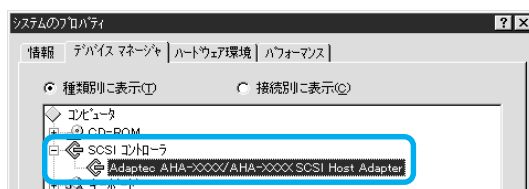
チェック

SCSIドライバが正しくインストールされ、SCSIボードが認識されていますか？

SCSIボードの取扱説明書を参照して、SCSIドライバを正しくインストールしてください。

SCSIドライバは、WindowsのCD-ROMに入っているドライバか、またはSCSIボード指定のドライバをお使いください。

Windows95/98の場合、SCSIボードを取りつけ、SCSIドライバをインストールすると、[コントロールパネル]の[システム]の中の[デバイスマネージャ]で次のように認識されます。



認識されない場合は、67ページを参照して対処してください。



チェック

SCSI IDの設定は正しいですか？

スキャナのSCSI IDを他のSCSI機器と違う設定にしてください(P.14)。重複していると正常に動作しません。

各機器のID番号は、SCSIボードに付属のソフトウェア(SCSI Selectなど。SCSIボードの取扱説明書参照)で確認できます。



チェック

ターミネータの設定は正しいですか？

接続の順序をご確認の上、ターミネータを正しく設定してください(P.14)。誤った設定をすると正常に動作しないことがあります。



チェック

Windows98の場合、SCSI ID または SCSI ボードを変更していませんか？

Windows98の場合は、EPSON TWAIN Proを削除した後で、スキャナのSCSI IDまたはSCSIボード(カード)を変更してください。その後はコンピュータを再起動し、画面の指示に従ってEPSON TWAIN Proを再インストールしてください。詳しくは、ユーザズガイド(P.138)をご覧ください。

チェック

ボード



WindowsNTの場合、固有の問題を解決しましたか？

WindowsNTの場合は、ネットワークボードとI/Oポートアドレスが重複したり、またターミネータやSCSIケーブルの種類に制限がある場合があります。WindowsNTのreadmeファイルを参照の上、固有の問題を解決してください。readmeファイルが保存されている場所は、WindowsNTの取扱説明書に記載されています。

それでもダメなときは

SCSI接続において、前記を確認してもスキャナが認識されない場合は、次のように対処してください。

チェック



デジチェーンの場合、SCSI機器の順番を入れ替えてみる

1. スキャナ以外のすべてのSCSI機器をいったん取りはずし、スキャナのみ接続します。Windows95/NTの場合は、その後、[EPSON TWAIN Proの設定]で状態を確認してください(P.39)。Windows98の場合は、32ページをご覧ください。
2. 動作が確認できたら、他のSCSI機器をスキャナの後ろに接続してみてください。このとき、SCSI IDやターミネータの設定にご注意ください(P.14)。

チェック

ボード

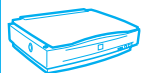


SCSIボードに添付されている取扱説明書またはQ&A集などで確認

特定のコンピュータおよびSCSIボードとの組み合わせにおいて、SCSIボードのディップスイッチや、ソフトウェアの設定変更などが必要になる場合があります*。SCSIボードに添付されている取扱説明書やQ&A集には、このようなケースの具体的な対処方法がいくつか記載されていますので、確認してみてください。

* 他のボード(サウンド・TVチューナーなど)とI/Oポートアドレスなどの設定が重複することがあり、この場合はSCSIボード側の設定を、ディップスイッチやソフトウェアなどにより変更します。

チェック



デジチェーンの場合、他のSCSI機器に接続上の制限がないか確認

SCSI機器によってはSCSI IDや接続の順序が制限されているものがあります。お使いのSCSI機器の取扱説明書またはreadmeファイルでご確認ください。(readmeファイルとは、SCSI機器用のソフトウェアが納められているCD-ROMなどに入っている文書ファイルで、使用上の制限など、読んでほしい内容が書かれています)

Windows95/98 で SCSI ボードが認識されないときは

ここでは、SCSIボードの取り付けとSCSIドライバのインストールを確認します。
まず、お使いのSCSIボードがWindows95/98対応品（プラグ＆プレイ対応品）か
ご確認ください。
（プラグ＆プレイとは、周辺装置やボードなどの自動設定機能のことです）



ポイント

Windows95/98で認識できても、エプソン推奨のSCSIボード以外ではスキャナの動作保証は致しかねます。推奨SCSIボードについては、エプソンFAXインフォメーションの「スキャナ・その他製品関連情報」でご確認ください。FAX番号は裏表紙にあります。

SCSI ボードがプラグ & プレイに対応している場合

プラグ & プレイに対応しているにもかかわらず、SCSIボードが認識されない場合は、SCSIボードが正しく取り付けられていないことが考えられます。取り付けを確認してください。

SCSIボードが正しく取り付けられていれば、自動的にSCSIドライバがインストールされます。

※ SCSIボードがPCIバス用でない場合、ボードがプラグ＆プレイ対応品でも、コンピュータがプラグ＆プレイに対応していない場合があります。コンピュータメーカーにお問い合わせください。

SCSI ボードがプラグ & プレイに対応していない場合

まず、SCSIボードが正しく取り付けられているか確認してください。そのあと、下記手順でSCSIドライバをインストールします。

- 1 [コントロールパネル] の [ハードウェア] または [ハードウェアの追加] アイコンをダブルクリックします。
- 2 画面の指示にしたがってSCSIボードを検出します。なお、検出の途中でコンピュータが応答しなくなることがありますので、他のアプリケーションは終了しておいてください。（コンピュータが応答しなくなった場合は、リセットしてください）
- 3 SCSIボードを検出できたら、SCSIドライバをインストールしてください。詳しくは、SCSIボードの取扱説明書をご覧ください。またはSCSIボードのメーカーにお問い合わせください。

SCSIボードが検出されない場合は、ボードの取り付けを確認してください。

- 4 インストールが終了したら、[コントロールパネル] の [システム] の [デバイスマネージャ] でSCSIボードの認識を確認してください。詳しくは、12ページをご覧ください。

画像取り込み時のトラブル

ここでは、スキャナをPCに直接接続している場合のトラブルについて説明しています。スキャナをネットワーク環境で利用する場合のトラブルについては、ネットワークガイドをご覧ください。

EPSON TWAIN Pro を起動できない

チェック



接続に問題はありませんか？

インターフェイスクーブルをしっかりと接続してください。
インターフェイスクーブルに問題があることも考えられます。お使いのインターフェイスに合った正しいケーブルで接続してください。また、コネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。

チェック



スキャナの準備はできていますか？

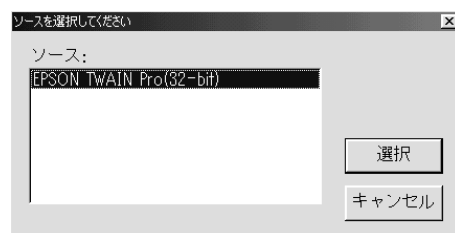
スキャナの電源がオフになっていると、EPSON TWAIN Proは起動できません。必ず電源をオンにして READY ランプが点灯した状態にしておいてください。

チェック



ソフトウェアで TWAIN データソースを正しく選択していますか？

お使いの TWAIN 対応ソフトの取扱説明書を参照し、TWAIN データソースの選択画面で [EPSON TWAIN Pro (32-bit)] を選択してください。



チェック



同ースキャナに対して、EPSON Scan Serverを起動していませんか？

EPSON Scan Server (スキャナをネットワーク環境で利用するためのソフトウェア) を起動している場合は、同ースキャナに対して EPSON TWAIN Pro を起動することはできません。EPSON Scan Server を起動している場合は、終了してください。



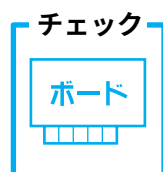
他の TWAIN 対応ソフトで試してみてください。

何らかの原因により、TWAIN 対応ソフトの動作が不安定になっていることも考えられます。他の TWAIN 対応ソフトから起動してみてください。または、コンピュータを再起動してみてください。



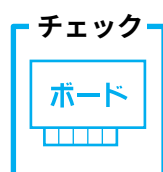
電源投入の順序は正しいですか？

コンピュータの電源をオンにする前に、必ずスキャナの電源をオンにしておいてください。そうしないと、スキャナが認識されません。



エプソン推奨の SCSI ボードを使っていますか？

エプソン推奨の SCSI ボード以外では動作の保証はいたしかねます。接続可能なボードについては、エプソン FAX インフォメーションの「スキャナ・その他製品関連情報」でご確認ください。FAX 番号は裏表紙に記載されています。



SCSI ボードは正しく取り付けられていますか？

コンピュータにしっかりと取り付けられていない可能性があります。取り付けを確認してください。

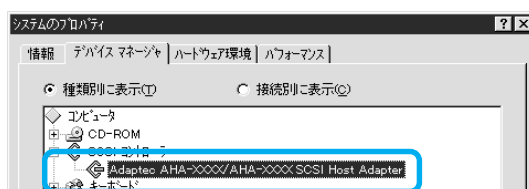


SCSI ドライバが正しくインストールされ、SCSI ボードが認識されていますか？

SCSI ボードの取扱説明書を参照して、SCSI ドライバを正しくインストールしてください。

SCSI ドライバは、Windows の CD-ROM に入っているドライバか、または SCSI ボード指定のドライバをお使いください。

Windows95/98 の場合、SCSI ボードを取り付け、SCSI ドライバをインストールすると、[コントロールパネル] の [システム] の中の [デバイスマネージャ] で次のように認識されます。



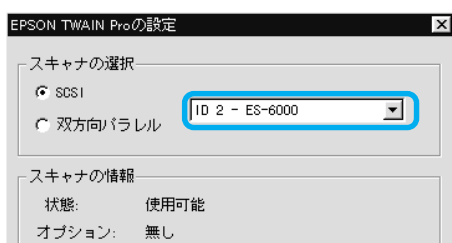
認識されない場合は、67 ページを参照して対処してください。

チェック



Windows95/NT環境で他のEPSONスキャナとデジタイゼーションしている場合、[EPSON TWAIN Proの設定]で他のEPSONスキャナを選択していませんか？

[EPSON TWAIN Proの設定]の[スキャナを選択]項目で、ES-6000が選択されているか確認してください。[EPSON TWAIN Proの設定]は、コントロールパネルに登録されています。



チェック



SCSI IDの設定は正しいですか？

スキャナのSCSI IDを他のSCSI機器と違う設定にしてください(P.14)。重複していると正常に動作しません。

各機器のID番号は、SCSIボードに付属のソフトウェア(SCSI Selectなど。SCSIボードの取扱説明書参照)で確認できます。

チェック



ターミネータの設定は正しいですか？

接続の順序をご確認の上、ターミネータを正しく設定してください(P.14)。誤った設定をすると正常に動作しないことがあります。

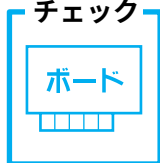
チェック



Windows98の場合、SCSIのIDまたはボードを変更していませんか？

Windows98の場合は、EPSON TWAIN Proを削除した後でスキャナのSCSI IDまたはSCSIボード(カード)を変更してください。その後はコンピュータを再起動し、画面の指示に従ってEPSON TWAIN Proを再インストールしてください。詳しくは、ユーザズガイド(P.138)をご覧ください。

チェック



WindowsNTの場合、固有の問題を解決しましたか？

WindowsNTの場合は、ネットワークボードとI/Oポートアドレスが重複したり、またターミネータやSCSIケーブルの種類に制限がある場合があります。

WindowsNTのreadmeファイルを参照の上、固有の問題を解決してください。readmeファイルが保存されている場所は、WindowsNTの取扱説明書に記載されています。

それでもダメなときは

SCSI接続において、前記を確認してもスキャナが認識されない場合は、次のように対処してください。

チェック



デジチェーンの場合、SCSI機器の順番を入れ替えてみる

1. スキャナ以外のすべてのSCSI機器をいったん取りはずし、スキャナのみ接続します。Windows95/NTの場合は、その後、[EPSON TWAIN Proの設定]で状態を確認してください(P.39)。Windows98の場合は、32ページを参照してください。
2. 動作が確認できたら、他のSCSI機器をスキャナの後ろに接続してみてください。このとき、SCSI IDやターミネータの設定にご注意ください(P.14)。

チェック

ポート



SCSIボードに添付されている取扱説明書またはQ&A集などで確認

特定のコンピュータおよびSCSIボードとの組み合わせにおいて、SCSIボードのディップスイッチや、ソフトウェアの設定変更などが必要になる場合があります*。SCSIボードに添付されている取扱説明書やQ&A集には、このようなケースの具体的な対処方法がいくつか記載されていますので、確認してみてください。

* 他のボード(サウンド・TVチューナーなど)とI/Oポートアドレスなどの設定が重複することがあり、この場合はSCSIボード側の設定を、ディップスイッチやソフトウェアなどにより変更します。

チェック



デジチェーンの場合、他のSCSI機器に接続上の制限がないか確認

SCSI機器によっては、SCSI IDや接続の順序が制限されているものがあります。お使いのSCSI機器の取扱説明書またはreadmeファイルでご確認ください。(readmeファイルとは、SCSI機器用のソフトウェアが納められているCD-ROMなどに入っている文書ファイルで、使用上の制限など、読んでほしい内容が書かれています)

エラーが出て画像を取り込めない

チェック



ハードディスクに、必要な空き容量がありますか？

ハードディスクには、最低でも取り込む画像データ容量の2倍以上の空き容量が必要です。不足している場合は、不要なデータを削除したり、ハードディスクを増設するなどして必要な容量を確保してください。取り込む画像データ容量の目安は、EPSON TWAIN Proの[出力サイズ]項目で確認できます。

なお、フォトタッチソフトを使用している場合、フォトタッチソフトが仮想記憶領域として多くの容量を使用していることがあります。必要に応じて、ハードディスクを増設してください。

チェック



メモリの空き容量は十分にありますか？

次のときは、メモリの空き容量が減って画像が取り込めないことがあります。

1. 複数のソフトウェアを同時に使用している
2. 他のソフトウェアで大きなデータを扱っている
3. クリップボードに大きなデータがある

これらの場合、ソフトウェアの動作が遅くなるなどの症状が現れます。次のように対処して空きメモリを確保してください。

- 1 の場合： 他のソフトウェアを終了する
- 2 の場合： 他のソフトウェアでデータを保存の上、できればそのソフトウェアを終了する
- 3 の場合： 念のため、コンピュータを再起動する

必要なメモリ容量は画像データによって異なりますが、カラー原稿の取り込みでは、64MB以上を推奨します。（画像データによっては、さらに多くの容量を必要とします。メモリ容量は、多ければ多いほど有利です）

付録

ここでは、次の内容について説明しています。

- 用語解説..... P.74
- 索引 P.77

英数字

I I/O ポートアドレス：

コンピュータと周辺装置との間で情報をやりとりするために複数の出入り口があるが、それを区別するためにつける番号のこと。キーボード、マウスなどにはあらかじめ番号が割り当てられているが、双方向パラレルなどのボードを新たに接続する場合は、これらと重複しないように番号を設定する必要がある。ハードウェア間でI/Oポートアドレスが重複すると、正常な動作ができなくなる。

O OCR：

Optical Character Recognition の略で、光学文字認識の意。印字された文字を読み取り、テキストデータ化すること。汎用のスキャナを用いる場合は、OCRソフトが必要になる。なお、専用の光学文字認識装置の場合は、Optical Character Reader と言う。

R readme ファイル：

ソフトウェアが納められているCD-ROMなどに保存されている文書ファイルで、使用上の制限など、読んでほしい内容が書かれている。

S SCSI：

SCSIとはSmall Computer System Interfaceの略で、ハードディスク、スキャナなどの周辺機器をコンピュータに接続するためのインターフェイス規格。複数のSCSI機器を、最大7台まで数珠つなぎ(デイジーチェーン)に接続可能。

SCSI ID：

SCSI機器は複数接続(デイジーチェーン)可能だが、各機器を区別するために設定する番号のこと。機器間でID番号が重複すると、正常な動作ができなくなる。

ターミネータ (terminator)：

終端抵抗。SCSIなどの接続において、信号が終端で反射し、戻ってくることを回避するために、終端に取りつけて信号電圧を安定させる電気抵抗のこと。

T TWAIN (トウェイン)：

スキャナを制御するソフトウェアのための、アプリケーションインターフェイス(API)の規格。取り込みソフトウェア自体もTWAINと言う。

付属のEPSON TWAIN Proは、このTWAIN規格に対応しているので、各種TWAIN対応ソフトから画像を直接取り込むことができる。

アイウエオ

カ 解像度 (resolution) :

解像度には、[印刷解像度] と [画像解像度] と [表示解像度] などがある。

印刷解像度 :

例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹きつけて印刷 (画像を表現) する。このインクの粒が約 25.4mm {1 インチ} 幅にいくつあるかを [印刷解像度] といい、単位は dpi (dot per inch) で表す。インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

画像解像度 : → 画像を取り込むときに、EPSON TWAIN Proで設定する解像度

画像データ自体を構成する画素 (点) が約 25.4mm {1 インチ} 幅にいくつあるかを表すもので、単位は印刷解像度と同じく、dpi (dot per inch) で表す。画素数が多いほど画像はより精細になるが、データ量が多くなるため画像の取り込み / 保存 / 読み込みなどに時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

取り込む画像の解像度は 50 ~ 9600dpi まで設定可能だが、画像をプリンタで印刷する場合、プリンタの印刷解像度の 1/3 以上に設定しても印刷品質は向上しない。ただし、EPSON PM カラープリンタで印刷する場合は、印刷解像度の 1/2 が最適。

表示解像度 :

画像をコンピュータのディスプレイに表示したときに、どのくらいの大きさで表示されるかを表したもので、単位はピクセル (またはドット)。ディスプレイ自体の表示能力を表すときも表示解像度を用いる。

キ キャリッジ (carriage) :

原稿を照射する蛍光ランプがついており、取り込み時に移動する。取り込み前のキャリッジの待機位置をホームポジションと言う。

ス スクリーンキャリブレーション (screen calibration) :

ディスプレイはメーカーや型番によって、明るさ・コントラストが異なる (ガンマ値の設定にバラつきがある)。スクリーンキャリブレーションとは、取り込んだ画像をそれぞれのディスプレイで最適な明るさで表示できるように、ディスプレイのガンマ値を読み取るためのもの。

ソ 走査 (scan) :

スキャナは、原稿に光を当てて反射光を読み取り、画像などを構成する最小単位の画素に分割し、分解フィルターで色分解を行い、その色の濃淡を電気信号に変換する。この処理を走査と言う。

またスキャナは、横方向にセンサを並べ、それを縦方向に動かすことにより平面な原稿を読み取っていくが、横方向の読み取りを主走査 (main scan)、縦方向の読み取りを副走査 (sub scan) と言う。主走査、副走査を交互に繰り返すことにより、原稿を読み取っていく。

タ ターミネータ (terminator) :

SCSI の説明を参照。

チ チェックボックス (check box) :

項目 (機能) の有効 / 無効を設定するための四角いマーク。マウスでクリックすることにより、有効 / 無効を切り替えることができる。

テ デイジーチェーン (daisy chain) :

SCSI の説明を参照。

ディップスイッチ (DIP switch) :

DIP は Dual Inline Package の略。パソコン本体や周辺機器を正常に動作させるために、動作環境の設定を行うスイッチのこと。

ト ドラッグ (drag) :

マウスボタンを押したまま、マウスを動かしてアイコンなどを移動すること。コピーなどの操作で使用する。

メ メモリ (memory) :

データを一時的に保存する部分。例えば、ソフトウェア自体はハードディスクに保存されているが、起動するとメモリに読み込まれ、ここでさまざまな処理が行われる。ハードディスクは保存領域、メモリは作業領域と言える。

画像取り込みにもメモリを使用するため、メモリの容量が少ないと、データが収まらずにエラーが発生することがある。

索引

英数字

- E** EPSON TWAIN Pro
 - インストール 24,34
 - 起動 50
 - トラブル 68
 - 取り込み手順 52
- G** GTATSCCB3 10
- GTSCIFS2 11
- I** I/Fケーブル 10
- O** OPERATEスイッチ (10),6
- S** Screen Calibration 28,37
- SCSI
 - SCSI ID 14
 - 基礎知識 20
 - ケーブル 10
 - 接続 16
 - ターミネータ 14
 - 手順 8
 - ドライバ 10,67
 - 認識されないときは 67
 - ボード 10,67
- W** Windows PCとの接続 7

アイウエオ

- ア** 新しいハードウェア 17,24
- イ** インストール
 - EPSON TWAIN Pro 24,34
 - 情報ファイル 17,24
 - 付属のソフトウェア 31,40
- エ** エラー
 - ADF 63
 - TWAN 62
 - インターフェイス 62
 - スキャナ本体 60,61
 - ハードディスク 63
 - メモリ 63
- オ** 大きさ 2
- カ** 外形寸法 2
- 解像度 75
- 画像
 - 取り込み方 52
 - 取り込めない 72
 - 保存 55
 - 容量 23
- キ** キャリッジ (10)
- ケ** 蛍光ランプ (10),6
- ケーブル 10
- 原稿
 - カバー 45
 - サイズ 44
 - 原稿台 (10),45
 - 条件 46
 - セット 42
- 原点 42
- コ** 故障かな?と思ったら 58
- 困ったときは 57
- コントロールパネル 30,32,39
- シ** システム 12,65,69
- システム条件 22
- 情報ファイル 17,24
- ス** スキャナが認識されない 64
- スイッチ (10)
- スクリーンキャリブレーション 28,37
- スケール 43,44

ソ	走査	44
タ	ターミネータ	14
テ	デイジーチェーン	14
	デバイスドライバ	17
	デバイスマネージャ	12,65,69
	電源	
	接続	5
	投入の順序	20
ト	動作の確認	5
	ドライバの更新	24
	トラブル	
	SCSIボードが認識されない	67
	エラー	62
	画像取り込み時	68
	スキャナが認識されない	64
	スキャナ本体	60,61
	取り込み方	52
ニ	認識	12,17,24
ハ	ハードウェア	17,24,67
	ハードディスク	22,72
	反射原稿	46
	ファイル形式	56
フ	プラグ&プレイ	17,24,67
ホ	ホームポジション	(10)
メ	メモリ	22,72
ユ	輸送用固定ノブ	(10),4,61
ヨ	用紙サイズ	44
	容量	23
ラ	ランプ	(10),60

電波障害自主規制について ー注意ー

この装置は、情報処理装置等電波自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんので、ご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製上のご注意

以下の行為は、法律により禁止されています。

- ・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- ・日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- ・政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどを複製すること
- ・政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- ・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- ・パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

書籍、絵画、版画、図画、写真などの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。